

R 1 企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
B-001	表紙・図面リスト	B-021	防水層詳細図 2	S-001	基礎伏図、基礎・雑配筋図	E-01	電気工事 特記仕様書
B-002	特記仕様書 1	B-022	展開図	S-002	基礎柱リスト、柱脚詳細図	E-02	電気工事 配置図
B-003	特記仕様書 2	B-023	1・2階天井伏図	S-003	1・2階柱伏図、鉄骨部材リスト	E-03	電灯設備 平面図
B-004	特記仕様書 3	B-024	建具配置図、建具表	S-004	2階梁伏図、小屋伏図、その他梁伏図	E-04	コンセント設備 動力設備 平面図
B-005	特記仕様書 4	B-025	走行クレーン詳細図	S-005	軸組図 1	E-05	防災設備 平面図
B-006	特記仕様書 5	B-026	外構現況図・撤去図、外構平面図	S-006	軸組図 2、階段架構図		
B-007	特記仕様書 6	B-027	外構詳細図	S-007	鉄骨架構図 1		
B-008	全体配置図、付近見取図			S-008	鉄骨架構図 2	W-01	管工事 特記仕様書
B-009	配置図			S-009	鉄骨架構図 3	W-02	管工事 配置図
B-010	仕上表、面積表			S-010	鉄骨架構図 4	W-03	管工事 平面図
B-011	1・2階平面図、屋根伏図			S-011	ジャストベース標準図		
B-012	立面図			S-012	合成スラブデッキプレート標準図		
B-013	矩計図 1			S-013	P柱アンカーボルト標準図	C-01	空調工事 特記仕様書
B-014	矩計図 2			S-014	鉄骨構造基準図7-1	C-02	空調工事 平面図
B-015	断面詳細図			S-015	鉄骨構造基準図7-2		
B-016	平面詳細図			S-016	鉄骨構造基準図7-3		
B-017	手摺詳細図			S-017	鉄骨構造基準図7-4		
B-018	部分詳細図 1			S-018	鉄骨構造基準図7-5		
B-019	部分詳細図 2			S-019	鉄骨構造基準図7-6		
B-020	防水層詳細図 1			S-020	鉄骨構造基準図7-7		

所 長	次 長	課長補佐	係 長	係 長	課 員	担 当

徳島県企業局	R 1 企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事	工事名	図面番号	株式会社 川建設計 1級建築士登録 第126265号 川端社一 部
		図面名	縮尺	
		表紙・図面リスト	B-001	

6. 金属成形板張り

種別	材質	防水紙	板幅	厚さ	形状	表面処理	取付下地
角波サイディング張り	塗装 溶融5%アルミニウム -亜鉛メッキ鋼板	透湿防水シート	125~140 mm程度	0.5mm	図示による	あり/なし/樹脂塗装	鉄骨(ステンレス止め)

7. 手すり及び
タラップ

材質	表面仕上げ	直径	取付箇所	備考
スチール	H0245	図面による	屋外手すり	
スチール	SOP塗り	図面による	屋内手すり	

◎手すりの支柱は、コンクリートあるいはモルタルの中に入る部分であっても錆止め処理を行うこと。

1.1 章 左官工事

1. 一般事項

◎下地調整に用いる吸水調整材の使用方法は、製造所の仕様による。
◎コンクリート等面の下地及び各塗り層は、消掃のうえ適度の水溜しを行って、次の層の塗り方にかかると。

2. モルタル塗り

◎下地、塗り面等の浮いている部分は、直ちに補修する。

施工箇所	仕上げの種類	目地	防水の有無	備考
屋内階段床	金こて押え	無	無	
屋外階段部床	金こて押え	無	有	
窓台	金こて押え	無	有	
防水層ビット部	金こて押え	無	有	内部充填

◎防水剤の製造所：評価名簿による。
◎目地の位置及び寸法は図示による。
◎防水モルタルに用いる防水剤の使用方法は、製造所の仕様による。
◎総塗り厚さが25mm以上となる場合は、はく落防止法とすること。

3. 床コンクリート
直均し仕上げ

◎施工箇所（1・2階床、根巻コンクリート・スチール棚置場上面）

4. 仕上塗材仕上げ

◎仕上塗材は、JIS A 6909（建築用仕上塗材）による。なお、下塗材、主材及び上塗材は、同一製造所の製品とする。

種類	呼び名	上塗材	仕上げの形状	工法	下地仕上
撥水材	コウチン打放し保護	水汚れ/UV/UV樹脂		吹付け	コンクリート打放し

◎建物内部に使用するUV7樹脂等（UV7樹脂、UV7樹脂、UV7樹脂、UV7樹脂）又はUV7樹脂（UV7樹脂）を用いた塗料のUV7樹脂の発熱量は、F☆☆☆☆とする。
◎所要量等の確認は、（標仕表15.5.4. 単位面積当たりの使用量）による。

1.2 章 建具工事

1. 一般事項

◎外部に面する建具は、建築基準法施行令、又は「屋根葺き材、外装材及び屋外に面する構体の基準（昭和46年建設省告示第109号）」に基づき安全性を確認すること。
◎防火戸の指定は建具表による。
◎建具見本の製作及び特殊な建具の依頼は、建具表による。
◎防火建具部品の適用は、建具表による。

2. アルミニウム製
建具

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法	使用箇所	表面処理
A種	S-4	A-3	W-4	70	図面参照	B-1

◎製作所：評価名簿による。
◎建具には製作者名を表示すること。

3. 鋼製建具

耐風圧性	気密性	水密性	遮音性	面内変形追随性	使用箇所	表面処理	備考
					図面参照	溶融亜鉛めっき鋼板	屋内建具枠

◎鋼板は、JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）による表面処理亜鉛めっき鋼板とし、めっき付着量はZ12又はF12を満足するものとする。
◎製作所：評価名簿による。

4. 木製建具

◎建具材の含水率の種別は、(A・B・C)種とする。
◎見込み寸法、表面板の厚さは図示による。
◎フラッシュ戸の表面材の合板の品質については、UV7樹脂の発熱量は、F☆☆☆☆とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、UV7樹脂の発熱量が、F☆☆☆☆のフラッシュ戸を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。その他は、標仕表 6. 2(b)(1)・(2)による。
◎建物内部の木製建具に使用するUV7樹脂水溶液を用いた塗作用、壁紙施工用及び建具用でん粉系接着剤のUV7樹脂の発熱量は、F☆☆☆☆とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、UV7樹脂の発熱量が、F☆☆☆☆のでん粉系接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

5. 建具金物

◎金物の種類及び見え掛り部の材質は、標仕表16.7.11による。
◎既成又はこれに準ずる建具金物は、建具製作所の仕様による。
◎釦り玉及びいぼ、押板類、カシメ等の取付け位置は図示による。

6. 軽量シャッター

設置場所	1階車庫・倉庫
セクション材料	スチールタイプ
耐風圧強度	500pa
開閉装置	電動式
安全装置	障害物感知装置
スラット仕様	t=0.8mm
シャッターケース、レール、座板、まぐさは図面による。	

◎製作所：評価名簿による。

7. ガラス

◎板ガラス

種類	品種	厚さ	備考
網入り磨き板ガラス 複層ガラス	JIS R 3204 JIS R 3209	6.0mm フロート5.0mm+空気層6mm+網入り透明6.0mm	

◎外部に面する網入り板ガラス等の下辺小口及び縦小口下端に防錆処理を行うこと。

◎ガラスのとめ材の種類

建具の種類	材質	ガラス溝の大きさ
アルミニウム製	SR-1両面	標仕表16.14.1

◎防火設備のガラスとめ材は、防火設備認定品とする。

8. ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	備考
紫外線カットフィルム	2種	内張り	型ガラス(スリガラス)調フィルム

◎品質はJIS A 5759による。

1.3 章 塗装工事

1. 一般事項

◎防火材料又は建築基準法に基づく指定又は認定を受けたものとする。
◎塗料はUV7樹脂等（UV7樹脂、UV7樹脂、UV7樹脂、UV7樹脂）又はUV7樹脂（UV7樹脂）を用いた塗料のUV7樹脂の発熱量は、F☆☆☆☆とする。
◎UV7樹脂等（UV7樹脂、UV7樹脂、UV7樹脂、UV7樹脂）又はUV7樹脂（UV7樹脂）を用いた塗料のUV7樹脂の発熱量は、F☆☆☆☆とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、UV7樹脂の発熱量が、F☆☆☆☆の塗料を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

2. 合成樹脂調合
ペイント塗り
(SOP)

区分	種別		素地ごしえ	錆止め塗料		備考
	屋外	屋内		屋外	屋内	
鉄面		標仕18.4.4 B種	C種	A種	鉄部	
亜鉛めっき面		標仕18.4.5	B種	A種	スチール戸枠	

3. 耐候性塗料 (DP)

区分	種別	素地ごしえ	備考
屋外亜鉛メッキ面 ステンレス面	標仕18.7.3 上塗り等級 1級(ふっ素系)	B種	シャッター3方枠 防水扉面
	標仕18.7.3 上塗り等級 1級(ふっ素系)に準じる	A種	

1.4 章 内装工事

1. セッコウボード
その他ボード及び
合板張

材質・規格品	施工箇所	工法	厚さmm	不燃材等の区分	小ねじ・釘・接着剤の種類	下地の種類	備考
スレートボード(フレキシブル板) JIS A 5430の規格品	天井 壁	目透かし 目透かし ジョイカー施工	4 8 5	不燃 不燃 不燃	小ねじ・釘・接着剤の種類	標仕19.7.2(d)(e) LGS 標仕19.7.2(d)(e) LGS 標仕19.7.2(d)(e) LGS	
ラワン合板(2種) 農林省告示第383号	保管庫上部 床	突付け	18			標仕19.7.2(d)(e) 軽量鉄鋼 軽量鉄鋼	H型アルミ製(t=1.0)ジョイナー共

◎合板、パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放熱量は、F☆☆☆☆とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、UV7樹脂の発熱量が、F☆☆☆☆の合板、パーティクルボード及びMDFを使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

2. 断熱・防露

種類	種別	厚さmm	工法	保管庫	施工箇所	備考
グラスウール	JIS 6301 24kg/m2	50mm	敷き込み	保管庫	天井	
グラスウール	JIS 6301 24kg/m2	50mm	はめ込み	保管庫	壁	

◎ロック、UV7樹脂又はUV7樹脂を使用した断熱材のUV7樹脂の発熱量は、F☆☆☆☆とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、UV7樹脂の発熱量が、F☆☆☆☆の断熱材を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。
◎製作所：評価名簿による。

3. 接着剤

◎壁紙施工用でん粉系接着剤、UV7樹脂等（UV7樹脂、UV7樹脂、UV7樹脂、UV7樹脂）又はUV7樹脂（UV7樹脂）を用いた接着剤のUV7樹脂の発熱量はF☆☆☆☆とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、UV7樹脂の発熱量が、F☆☆☆☆の接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

	徳島県企業局	工事名 R 1 全総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事	図面番号 B-006	株式会社 川建設計 1級建築士登録 第126265号 川端社一郎
		図面名 特記仕様書 5	縮尺	

1 5章 ユニット及び

その他の工事

1. 階段滑り止め (屋内)
 - ◎材種 (SUS304)、形状 (ゴムタイヤ有り)、エンド無し、寸法 (35)
 - ◎取付け方法は (アンカーピン+接着工法) とする。
2. 階段滑り止め (屋外)
 - ◎材種 (SUS304)、形状 (ゴムタイヤ無し)、寸法 (35)
 - ◎取付け方法は (アンカーピン+接着工法) とする。
3. アルミ庇
 - ◎強度に関する資料を監督員に提出すること。取付ピッチ、支持材ピッチは採用メーカーの規定・構造計算による。
4. バリカー
 - ◎図面による
5. スチール棚
 - ◎図面による
6. 目地板
 - ◎選定青石板製
7. 防水層
 - ◎スライド式防水層 (正水圧)
 - 材質 ステンレス製 (錆止め塗装のうえDP塗り)
 - 防水高さ NGL+1150
 - 明細は防水層詳細図参照
8. 走行クレーン
 - ◎走行クレーン
 - 定格荷重 2,800/t
 - スパン 10.78m
 - 明細は走行クレーン詳細図参照

1 6章 排水工事

1. 排水管

◎排水管材料

材種	管の種類	呼び径	備考
硬質ポリ塩化ビニル管	VP	100	

2. 側溝、排水溝等

◎排水マスの種類：図示による。

◎グレーチング

材質	用途	通用荷重	メインレバー	垂鉛めつき付着量	上面形状	備考
スチール	溝用	T20	35.3程度	450g/m2以上	ブレーン	ボルト固定
スチール	拵用	T14	30.0程度	450g/m2以上	ブレーン	ボルト固定
スチール	拵用	T6	30.0程度	450g/m2以上	ブレーン	ボルト固定

・製造所：評価名簿による

◎砂の粒度試験は、(行う ・ 行わない)

3. 街きよ、縁石、側溝

◎地業材料：再生クラッシャーラン 厚さ：100

◎コンクリート設計基準度等：18N/mm²、スランプ=15

◎街きよ、縁石及び側溝

名称	形状	寸法	備考
境界ブロック	地先	150×120	

4. その他

◎地業材料の種類：再生クラッシャーラン 厚さ：図示による。

◎コンクリート：設計基準強度(18N/mm²)、スランプ(15)

◎埋め戻し材料：(A、B)・C・D種とする。

◎排水工事の仕様は、図示以外は、建築工事標準詳細図による。

1 7章 舗装工事

1. 路床

◎盛土材料 B種

◎路床土の支持力比 (CBR) 試験は (行う [乱した土・乱さない土]、行わない)

◎路床締固め度試験は (行う、行わない)。

◎砂の粒度試験は (行う、行わない)。

◎現場 CBR 試験を (行う、行わない)。

2. 路盤

◎路盤材料は再生クラッシャーランとし、厚さは図示による。

◎締固め試験は (行う、行わない)。

◎路盤の厚さは、設計厚さを下回らないこととする。

3. アスファルト舗装

舗装の種類	部位	舗装の厚さ (mm)
アスファルト	補修部	50

◎再生加熱アスファルト混合物を (使用する)。

種 別	表層、基層の別	種類	備考
再生加熱アスファルト混合物	表層	密粒度アスファルト混合物	

◎シーラコートは (行う、行わない)。

◎アスファルト混合物の抽出試験は (行う、行わない)。

◎切取り試験は (行う、行わない)。

◎表層の厚さは、設計厚さを下回らないこととする。

◎地域は (一般地域・寒冷地域) とする。

◎舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする。

徳島県企業局

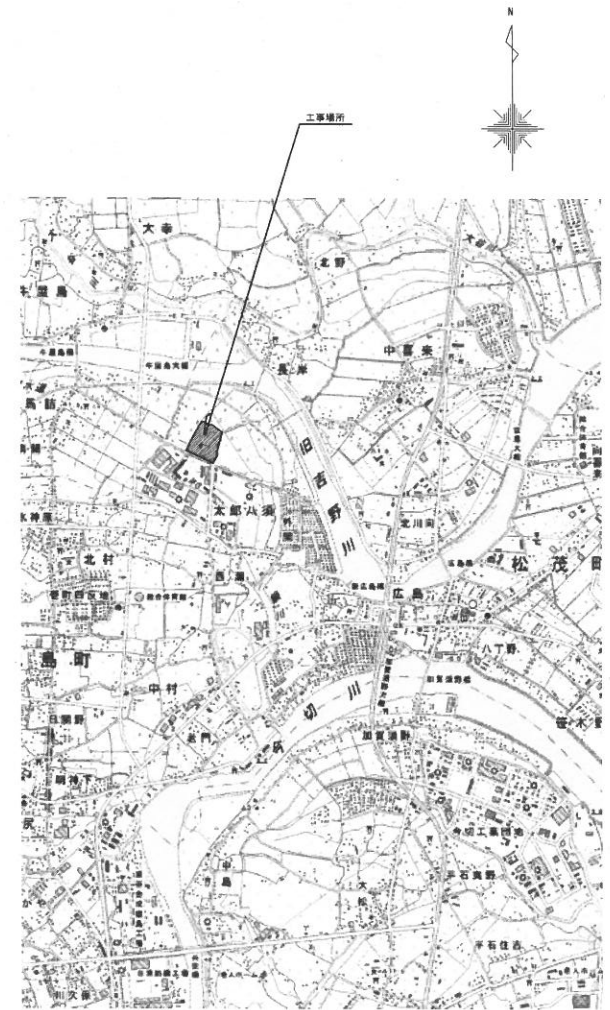
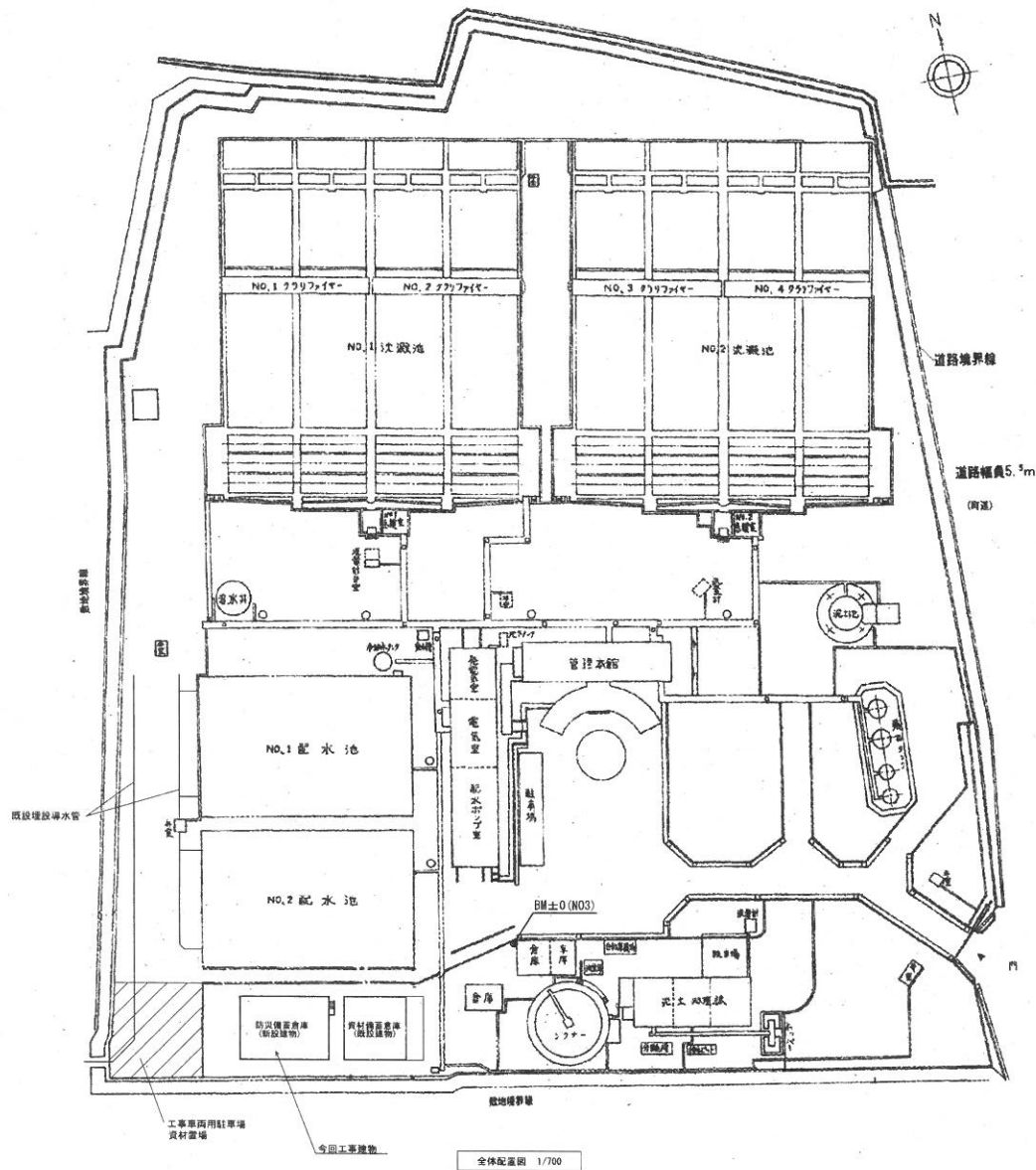
工事名
R 1 企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事

図面番号
B-007

1級建築士登録
第126265号
川建設
川建設一部

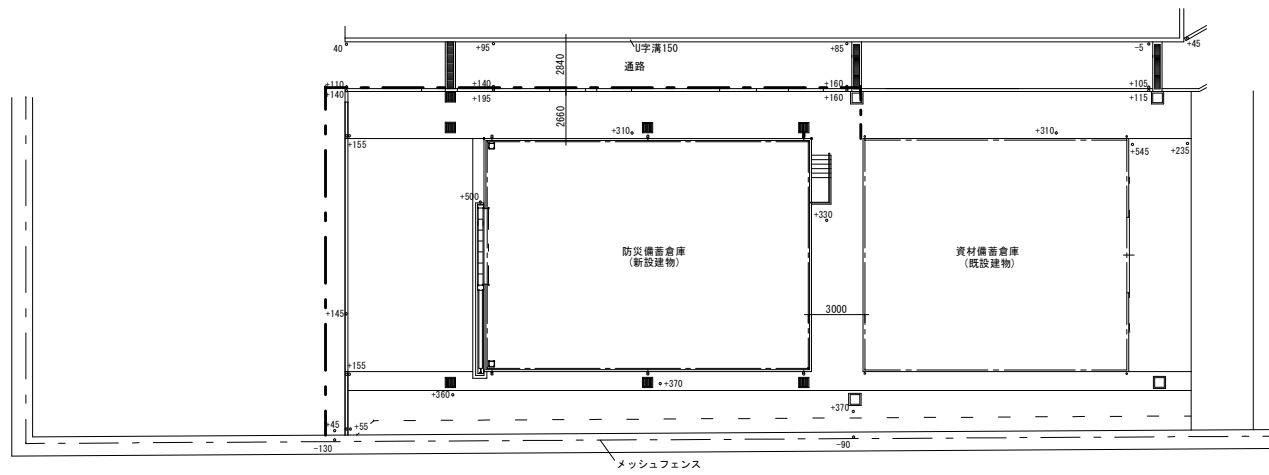
図面名
特記仕様書 6

縮尺



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号 平30情保、第573号) この地図を複製して使用する場合は、国土地理院の長の承認を得る必要があります。」

	徳島県企業局	工事名 R1企配管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事 図面名 全体配置図、付図見取図	図面番号 B-008 縮尺 1/700	株式会社 川建設計 1級建築士登録 第126265号 川耀社一郎
--	--------	----------------------------------------------------------	------------------------------	-----------------------------------------------------



NGL=KGW+400とする

配置図 1/200

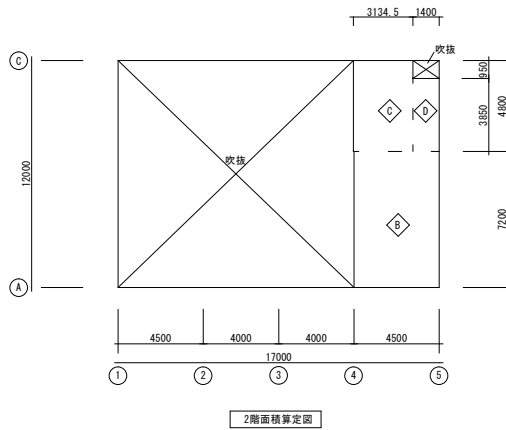
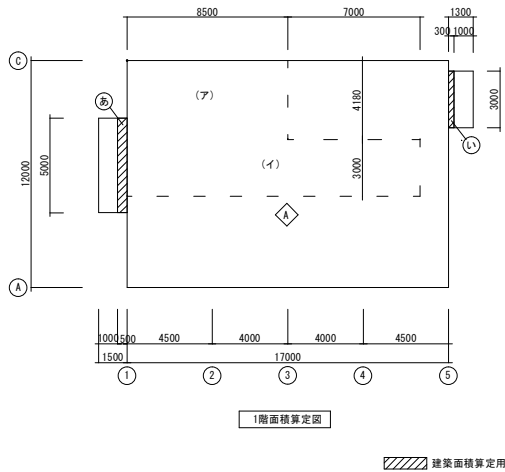
--- A型バリケード
(50m)

	徳島県企業局	工事名 R1 企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事	図面番号 B-009	株式会社 川建設 1級建築士登録 第126265号 川端社 川端社 川端社
		図面名 配置図	縮尺 1/200	

内部仕上表

階	室名	床	巾木	壁	天井	CH	備考
1	車庫・倉庫	コンクリートこて押え(目地カッター切り)	コンクリート打放し(塗装合板型枠)	スレートボード(フレキシブル板)厚5 ジョイナー工法	屋根表し(オレフィン樹脂系フォーム厚4)デッキプレート表し		スチール棚
2	倉庫	コンクリートこて押え 500角	外壁表し 一部ビニル巾木 H=60	スレートボード(フレキシブル板)厚5 ジョイナー工法 一部スレートボード(フレキシブル板)厚8底目地張り	屋根表し(オレフィン樹脂系フォーム厚4)		スチール棚
2	保管庫	コンクリートこて押え	ビニル巾木 H=60	スレートボード(フレキシブル板)厚8底目地張り	スレートボード(フレキシブル板)厚4底目地張り	2150	
1~2	階段	モルタルこて押え(溶接金網3.2φ×50×50)	鉄骨PL SOP塗り	スレートボード(フレキシブル板)厚5 ジョイナー工法 一部スレートボード(フレキシブル板)厚8底目地張り	屋根表し(オレフィン樹脂系フォーム厚4)		
2の上	保管庫上部	合板厚18張り(ビス止め)	外壁表し	スレートボード(フレキシブル板)厚5 ジョイナー工法	屋根表し(オレフィン樹脂系フォーム厚4)		

スレートボード(フレキシブル板)厚4・5・8	不燃材料
オレフィン樹脂系フォーム厚4	不燃材料

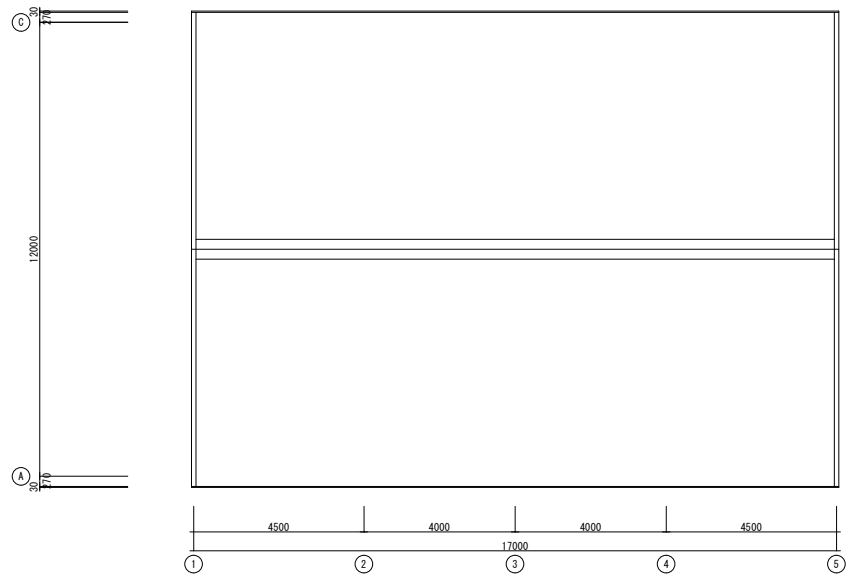


面積計算表	記号	面積	延床面積
1階床面積	A	17.00 × 12.00 × 1 = 204.0000	204.0000
	計		204.00 m2
2階床面積	B	4.50 × 7.20 × 1 = 32.4000	32.4000
	C	3.1345 × 4.80 × 1 = 15.0456	15.0456
	D	1.40 × 3.85 × 1 = 5.3900	5.3900
	計		52.8356
			52.83 m2
建築面積	1階床面積		204.0000
	あ	5.00 × 0.50 × 1 = 2.5000	2.5000
	い	3.00 × 0.30 × 1 = 0.9000	0.9000
	計		207.4000
			207.40 m2
車庫面積	ア	8.50 × 4.18 × 1 = 35.5300	35.5300
	イ	15.50 × 3.00 × 1 = 46.5000	46.5000
	計		82.0300
			82.03 m2
倉庫面積	延床面積		256.83
	車庫面積		-82.03
	計		174.80 m2

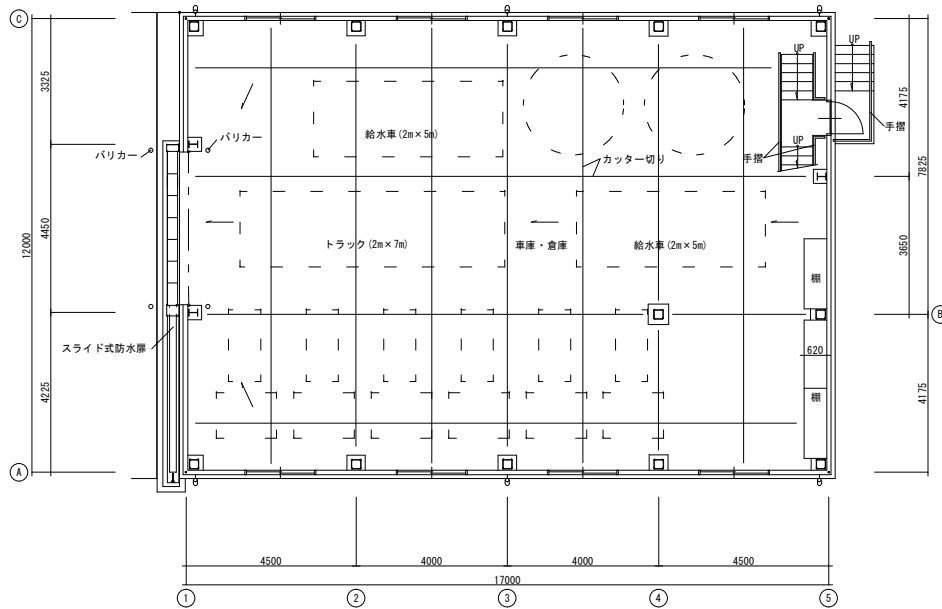
建築面積	207.40m2
1階床面積	204.00m2
2階床面積	52.83m2
延床面積	256.83m2



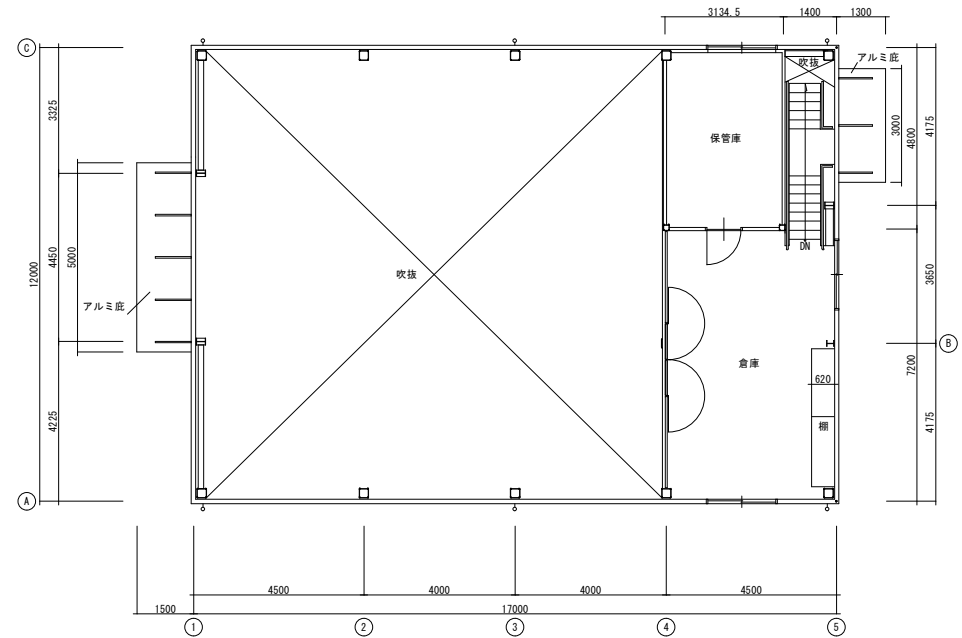
屋内階段	鉄骨階段 有効巾 830mm 踏面 240mm 蹴上 183.167mm - 185.625mm
屋外階段	鉄筋コンクリート階段 有効巾 918.65mm 踏面 240mm 蹴上 191.667mm



屋根伏図



1階平面図



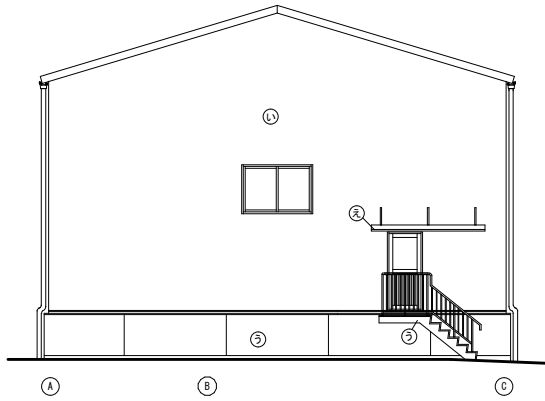
2階平面図

徳島県企業局

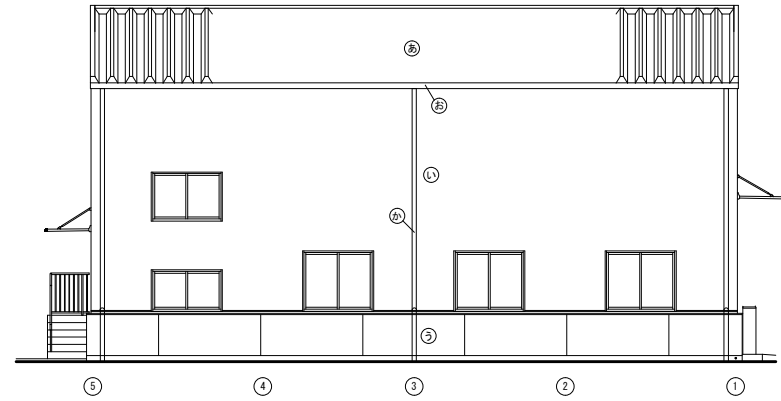
工事名 R1 企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事
図面名 1・2階平面図、屋根伏図

図面番号 B-011
縮尺 1/100

株式会社 川建設計 1級建築士登録 第126265号 川端社一郎

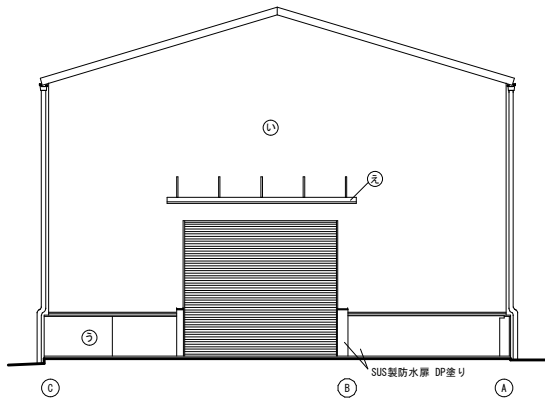


東立面図

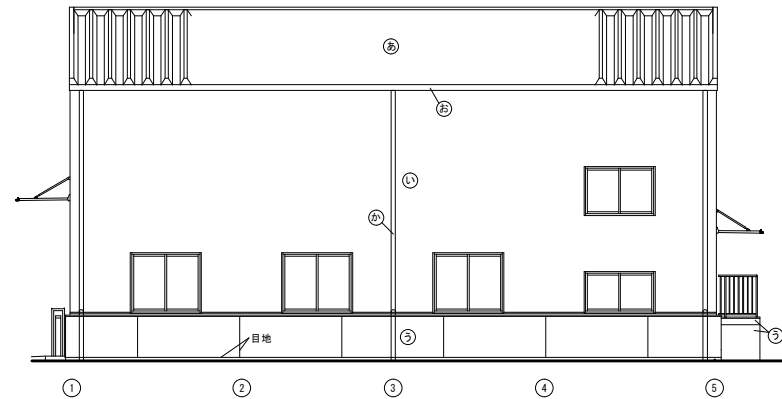


北立面図

記号	仕上
㉕	屋根 塗装 溶融55%アルミニウム-亜鉛メッキ鋼板 厚0.8 折板葺き 裏打ち材 オレフィン樹脂系フォーム厚4
㉖	外壁 塗装 溶融55%アルミニウム-亜鉛メッキ鋼板 厚0.5 角波サイディング張り
㉓	巾木 コンクリート打放し(塗装合板型枠)撥水材
㉒	アルミ庇
㉗	軒樋 カラー塩ビ製 角形(前高)W150
㉘	タ子樋 カラーVP 100φ



西立面図



南立面図

徳島県企業局

工事名 R1 企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事
図面名 立面図

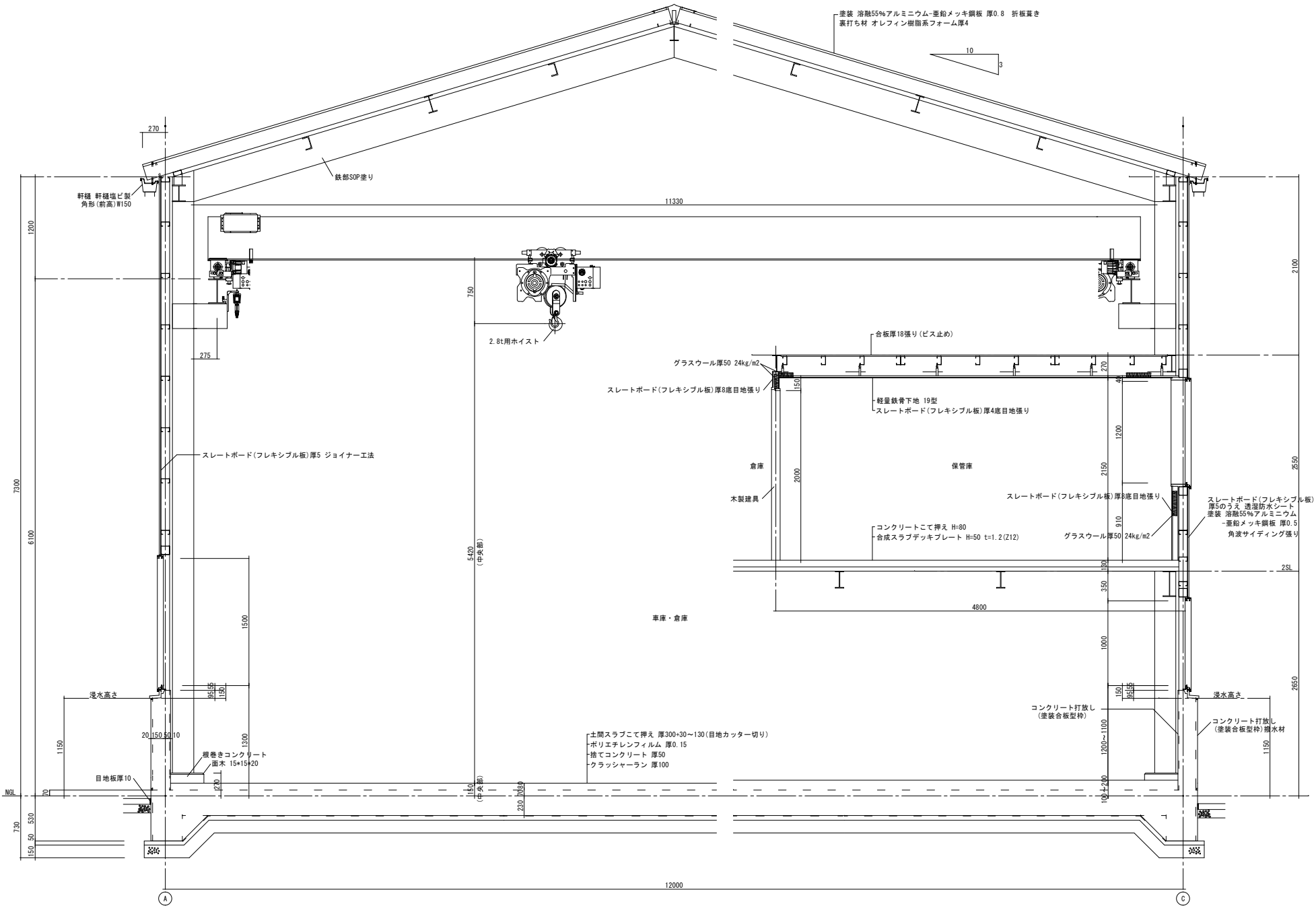
図面番号 B-012
縮尺 1/100

株式会社 川建設

1級建築士登録
第126265号
川端社 一郎

塗装 溶融55%アルミニウム-亜鉛メッキ鋼板 厚0.8 折板置き
裏打ち材 オレフィン樹脂系フォーム厚4

10
3



徳島県企業局

工事名 R1 企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事

図面番号 B-013

株式会社 川建設

1級建築士登録
第126265号
川端社一郎

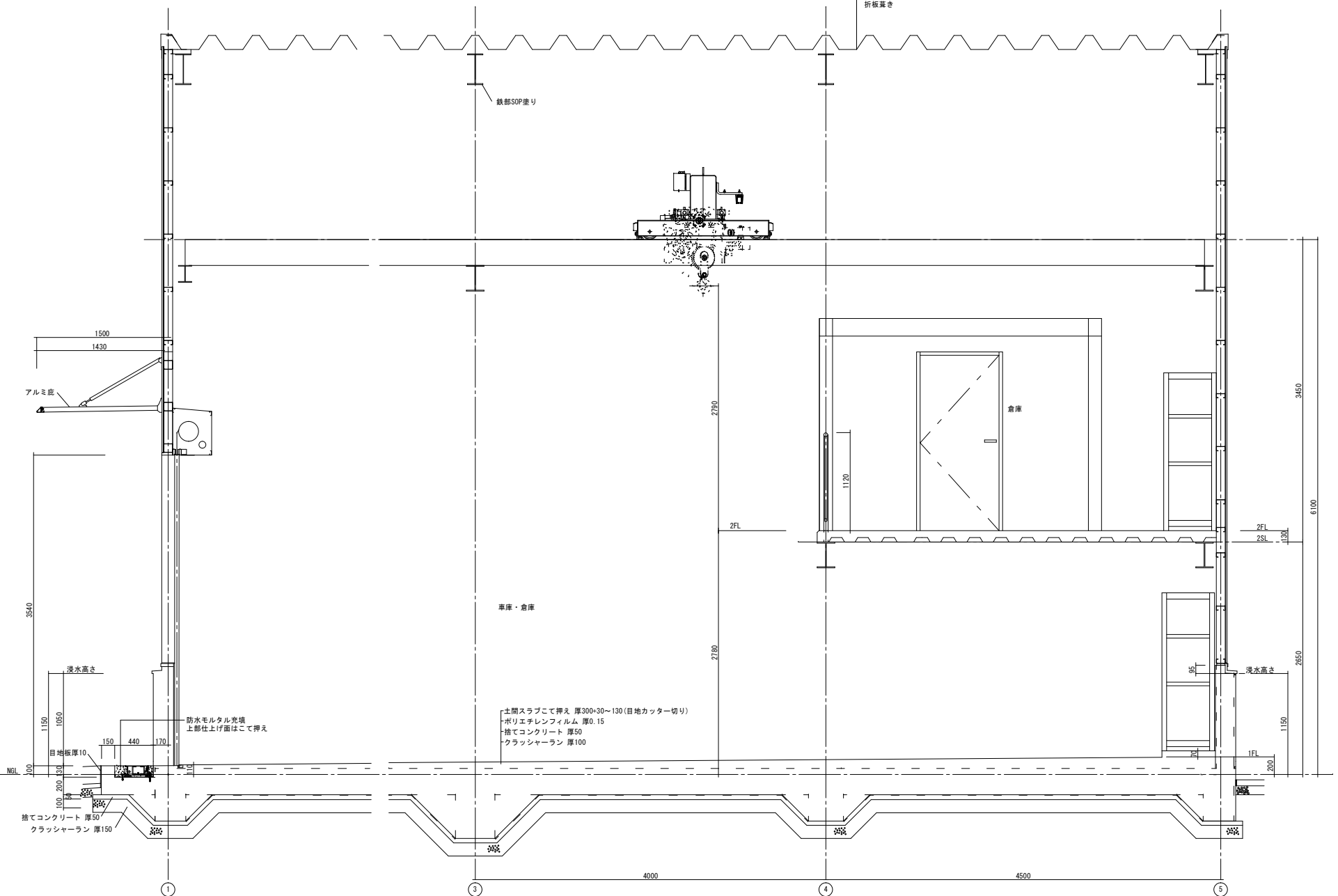
図面名 矩形図 1

縮尺 1/30

塗装 溶融55%アルミニウム-亜鉛メッキ鋼板 厚0.8
折板葺き

鉄部SOP塗り

アルミ庇



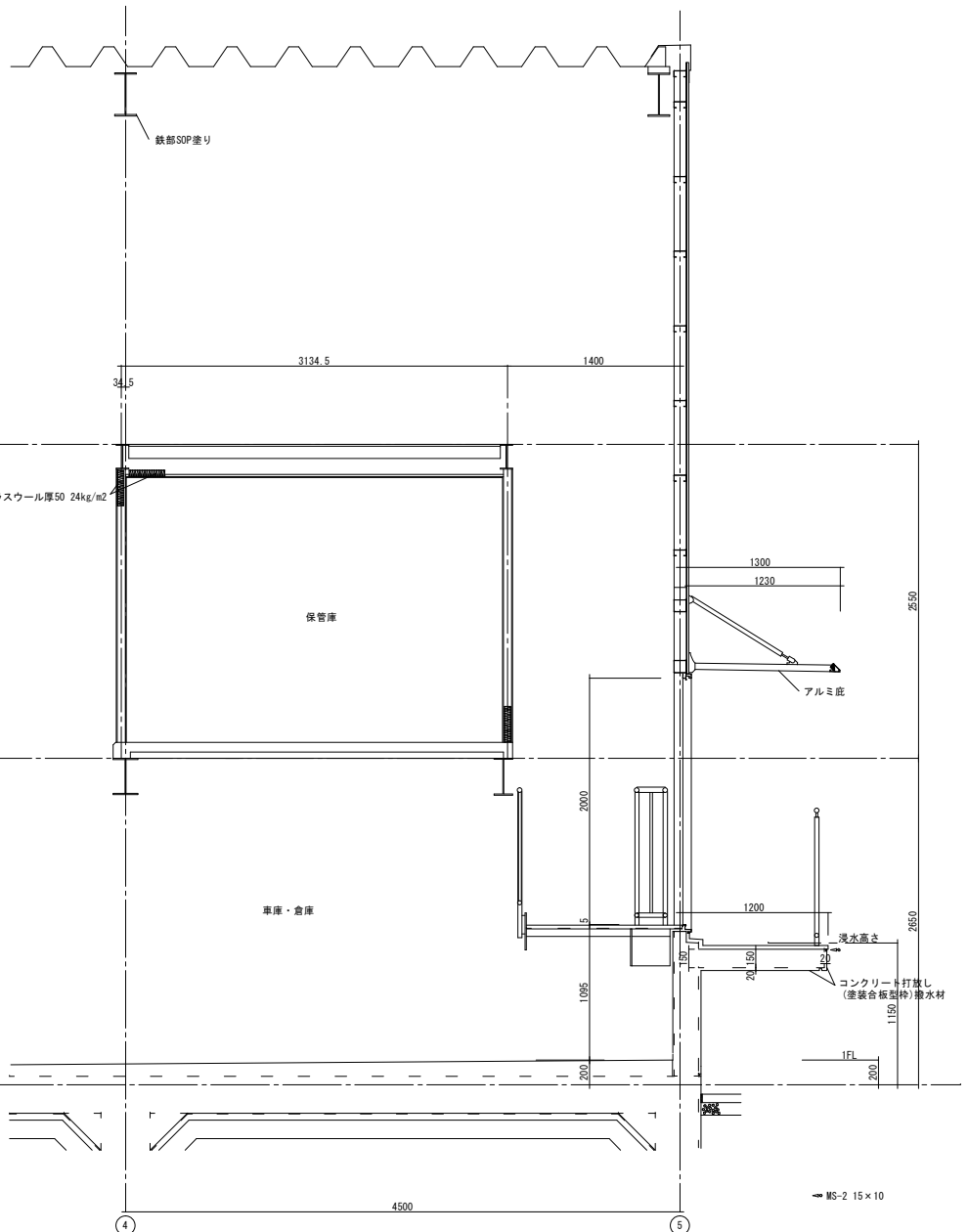
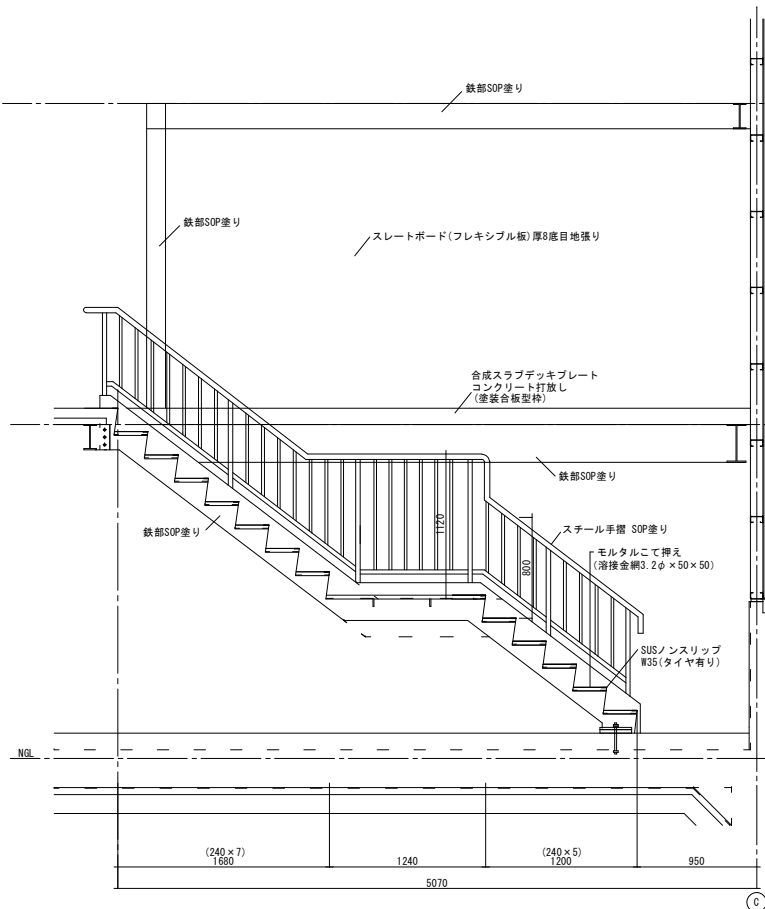
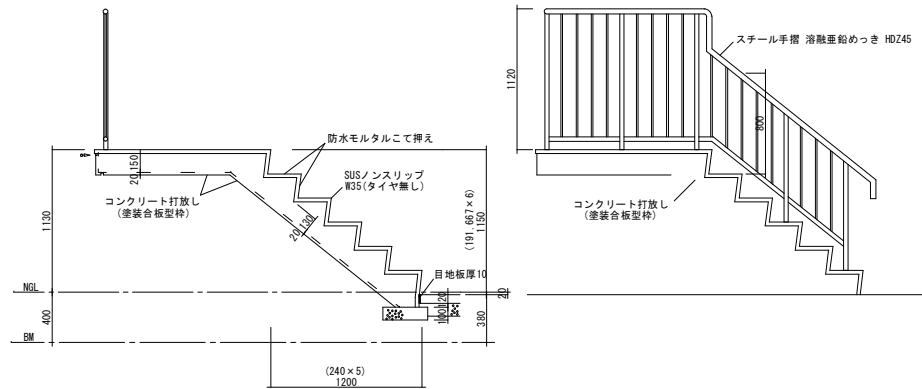
土間スラブこて押え 厚300+30~130(目地カッター切り)
-ポリエチレンフィルム 厚0.15
-捨てコンクリート 厚50
-クラッシャーラン 厚100

防水モルタル充填
上部仕上げ面はこて押え

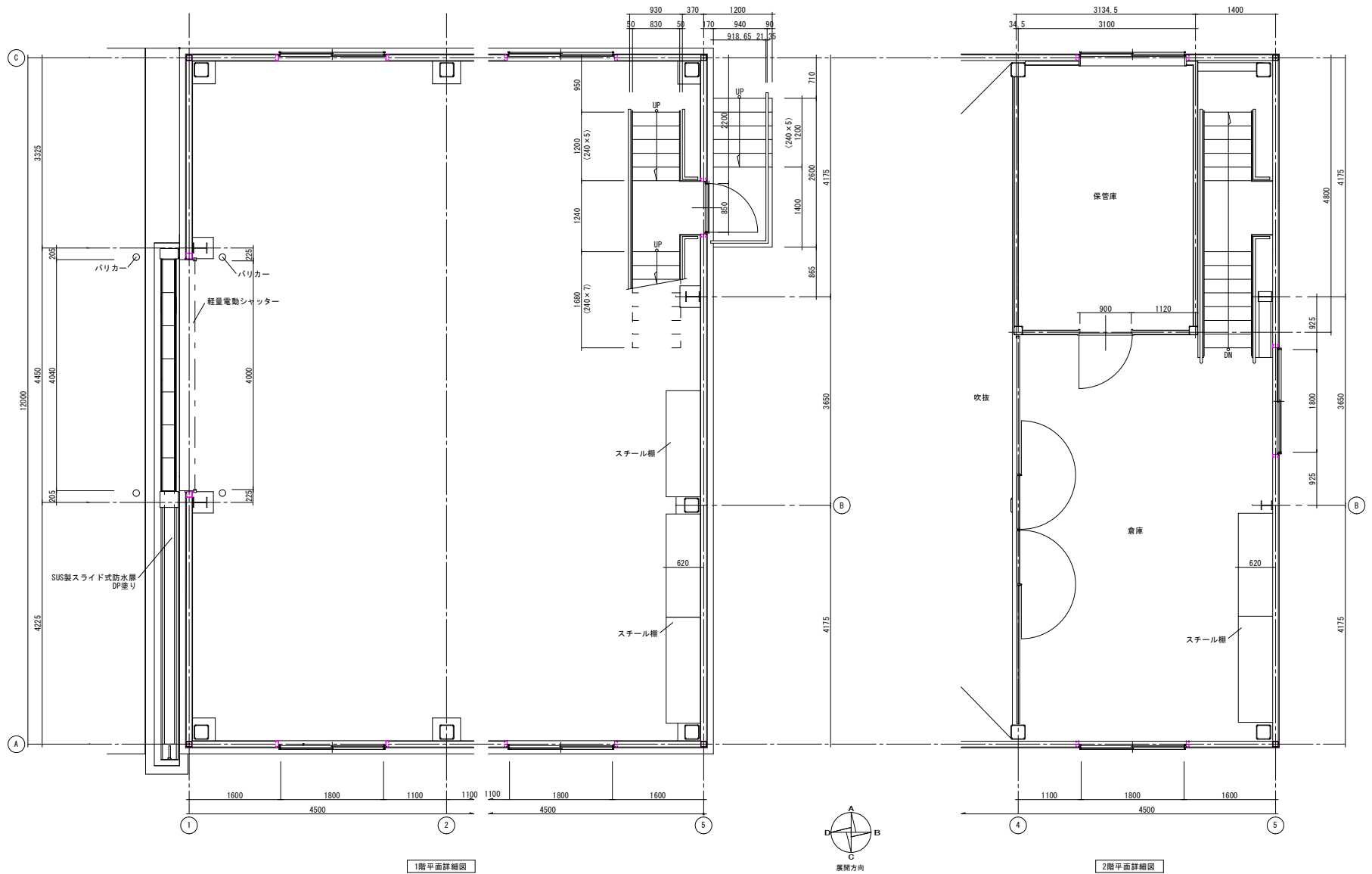
浸水高さ
1150
1050
目地板厚10
150
440
170
捨てコンクリート 厚50
クラッシャーラン 厚150

浸水高さ
1150
200

徳島県企業局	工事名	図面番号	1級建築士登録 株式会社 川建設 第126265号 川端社一部
	R 1 企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事	B-014	
	図面名	縮尺	
	矩計図 2	1/30	



徳島県企業局	工事名 R 1 企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事	図面番号 B-015	株式会社 川建設計 1級建築士登録 第126265号 川端社 川端社 川端社
	断面詳細図	縮尺 1/30	



徳島県企業局

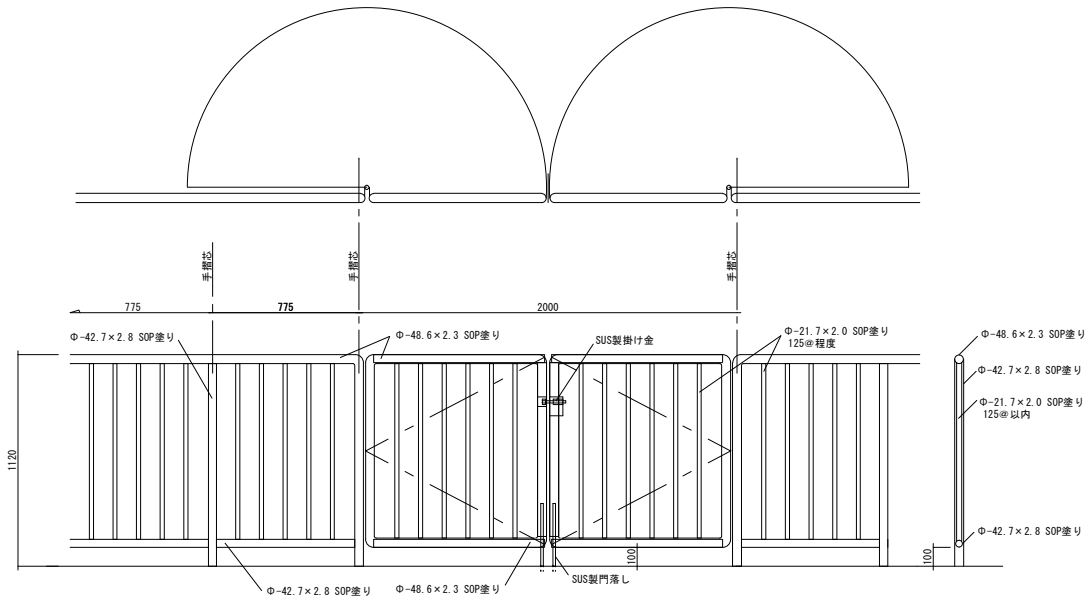
工事名 R1企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事
 図面名 平面詳細図

図面番号 B-016
 縮尺 1/50

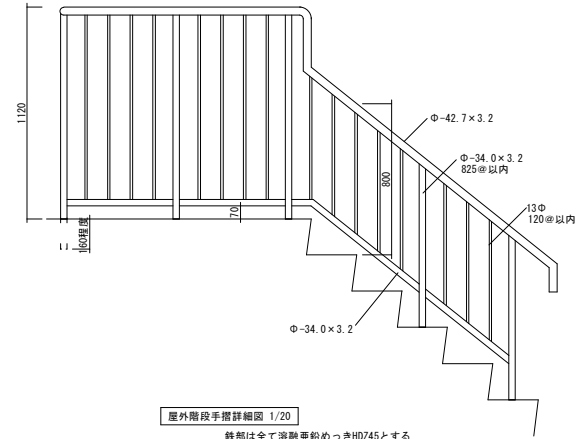
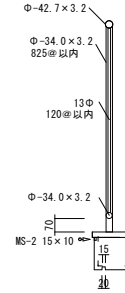
株式会社 川建設

1級建築士登録
 第126265号
 川端社一郎

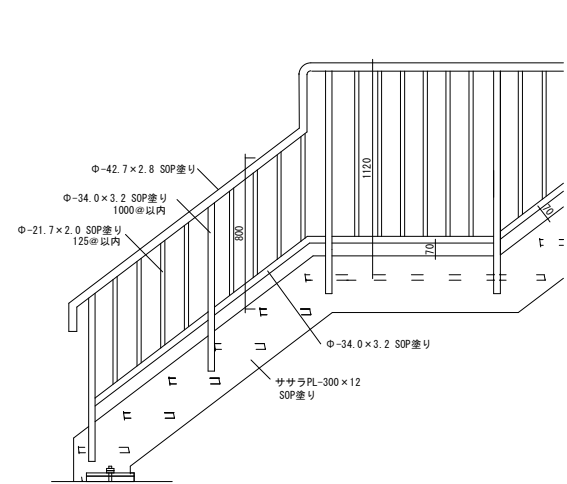
型式	両開き手摺戸(常時は閉鎖使用)
材質	スチール SOP塗り
室名(数量)	2階倉庫(1ヶ所)
付属金物	SUS製重量用下番、SUS製掛け金 SUS製門落し、SUS製開放時ストッパー 他一式



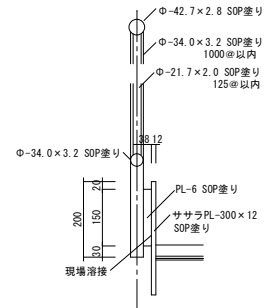
収技部スチール手摺・両開き手摺戸詳細図 1/20



屋外階段手摺詳細図 1/20
鉄部は全て溶融亜鉛めっきH0Z45とする



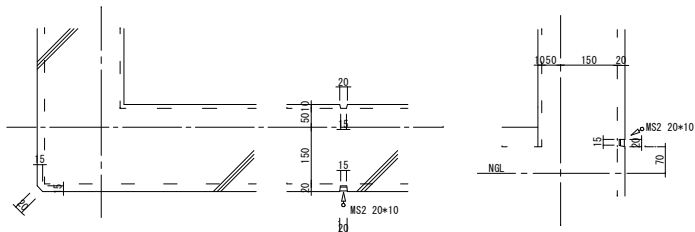
屋内階段手摺詳細図 1/20



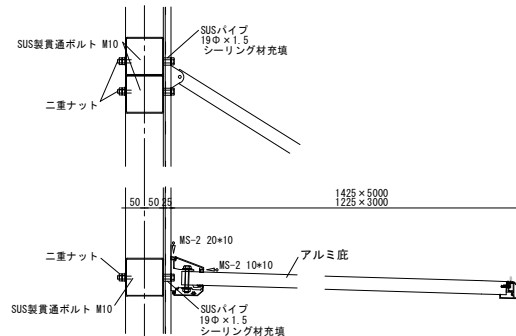
屋内階段手摺詳細図 1/10

<p>1階AW1・3廻り詳細図 1/10</p> <p>止水線は塗装 熔融55%アルミニウム -垂鉛メッキ鋼板 厚0.4</p>	<p>1階AD1廻り詳細図 1/10</p> <p>止水線は塗装 熔融55%アルミニウム -垂鉛メッキ鋼板 厚0.4</p>	<p>2階AW2廻り詳細図 1/10</p> <p>止水線は塗装 熔融55%アルミニウム -垂鉛メッキ鋼板 厚0.4</p>	<p>2階AW2'廻り詳細図 1/10</p> <p>止水線は塗装 熔融55%アルミニウム -垂鉛メッキ鋼板 厚0.4</p>	<p>WD1 スチール製3方枠詳細図 1/10</p>
<p>1階SS1廻り詳細図 1/10</p> <p>防水モルタル詰め</p>	<p>2階保管庫廻り壁詳細図 1/10</p>	<p>屋内階段床詳細図 1/10</p>		
<p>基礎土台水切り詳細図 1/10</p>	<p>外壁出隅役物詳細図 1/10</p>	<p>軒先納まり詳細図 1/10</p>	<p>ケラバ納まり詳細図 1/10</p> <p>外壁仕様は水切り部に同じ</p>	<p>棟納まり詳細図 1/10</p>
<p>徳島県企業局</p>	<p>徳島県企業局</p>	<p>工事名 R 1 企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事</p> <p>図面名 部分詳細図 1</p>	<p>図面番号 B-018</p> <p>縮尺 1/10</p>	<p>1級建築士登録 第126265号 川建設計 川建設計一部</p>

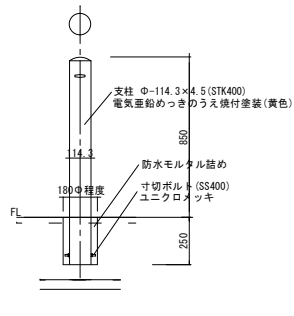
外壁、内装目地・面木詳細図(参考図) 1/10



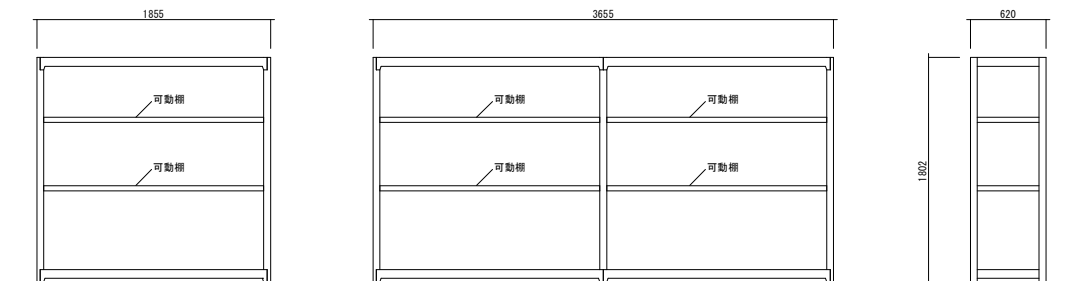
アルミ庇詳細図 1/10



バリカー詳細図(参考図) 1/20



スチール棚(参考図) 1/30



中量スチール棚

耐荷重	500kg/1段
素材	スチール
塗装	メラミン焼付塗装

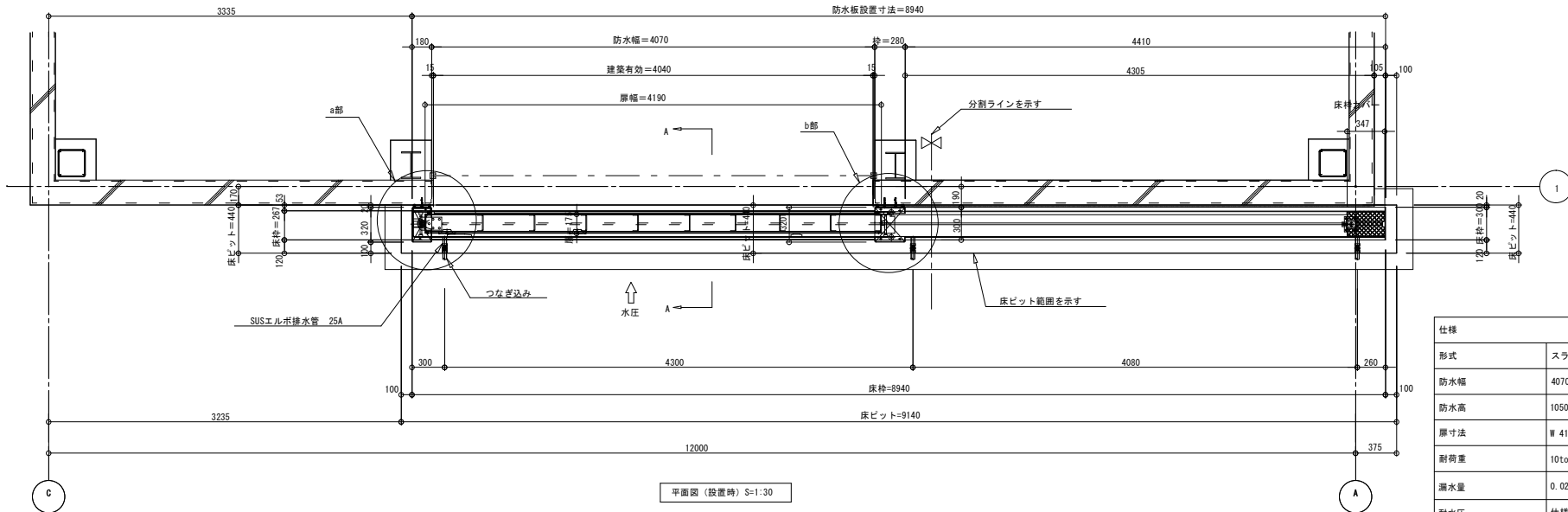
SUSビスにてR形棚、RC壁にビス止めを施し固定すること。

徳島県企業局

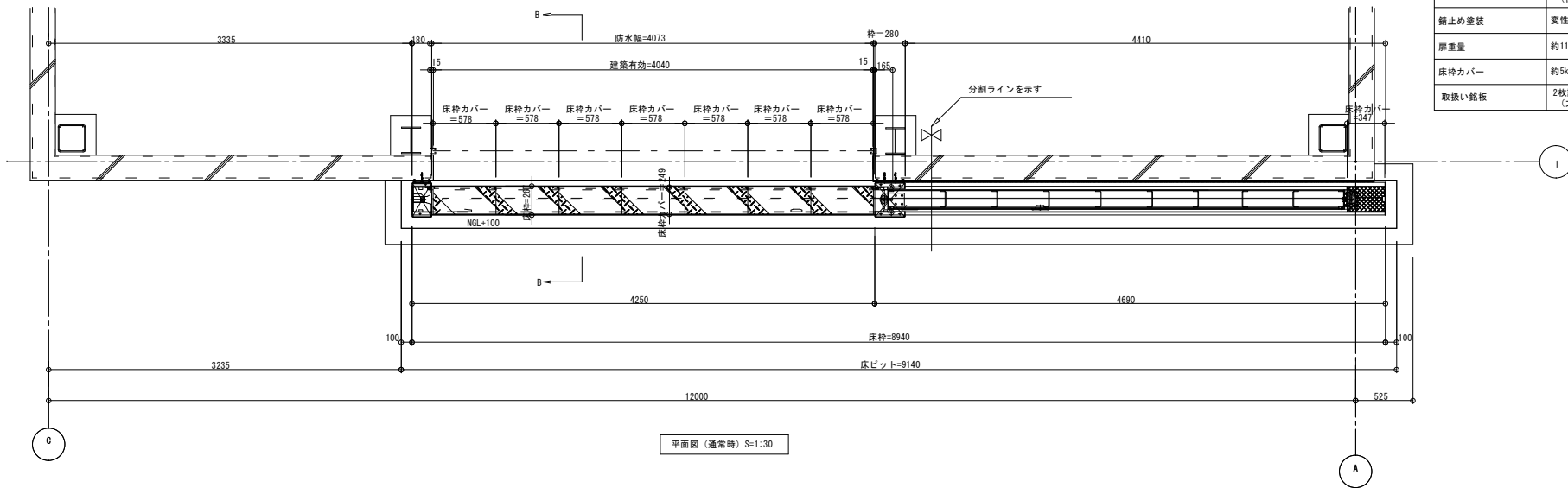
工事名 R 1 企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事
図面名 部分詳細図 2

図面番号 B-019
縮尺 1/10 1/20 1/30

株式会社 川建設 1級建築士登録 第126265号 川端社一 川端社一

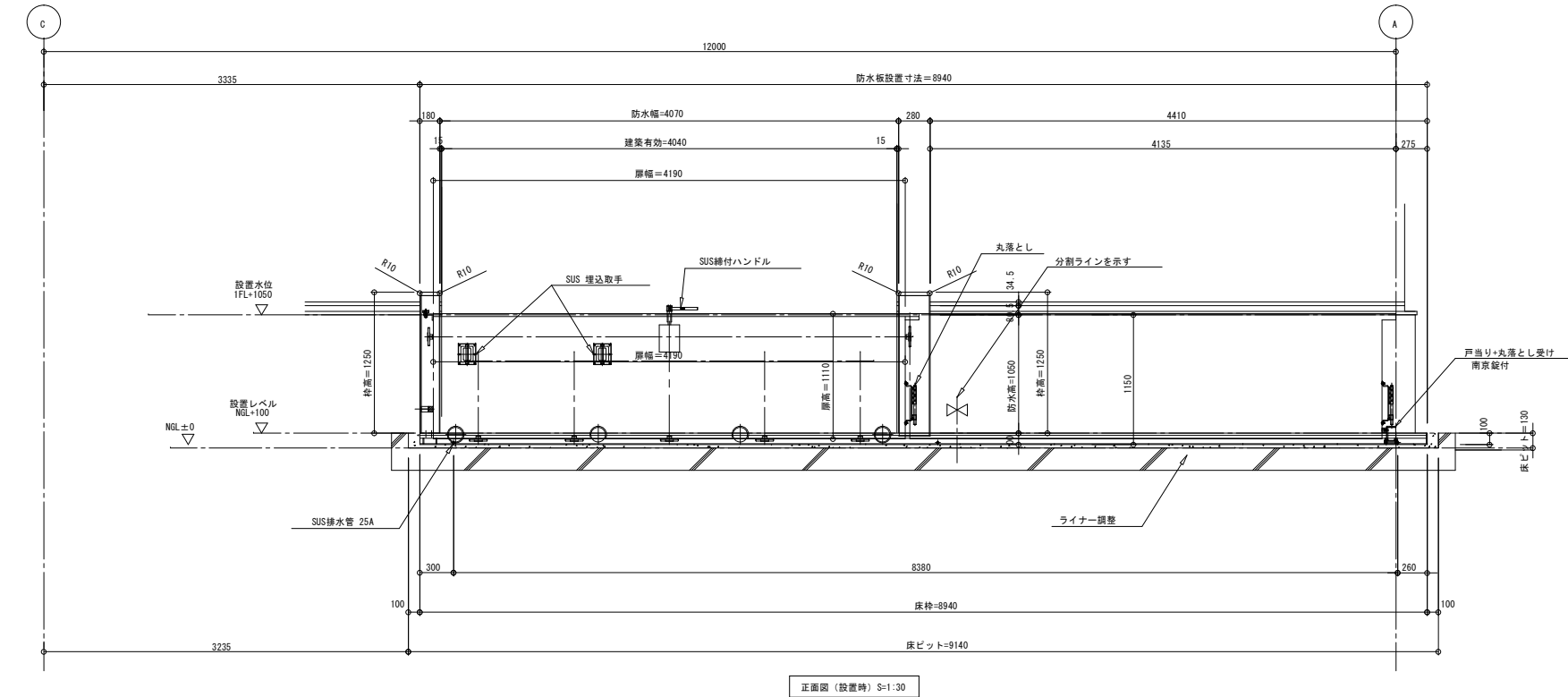
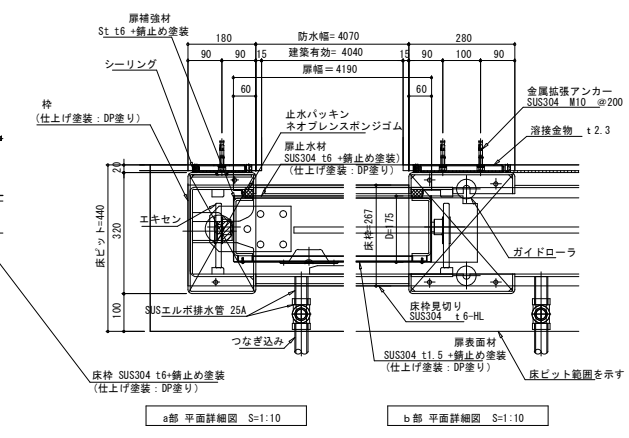
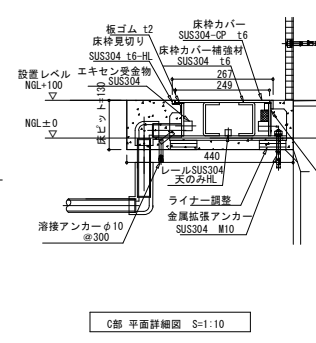
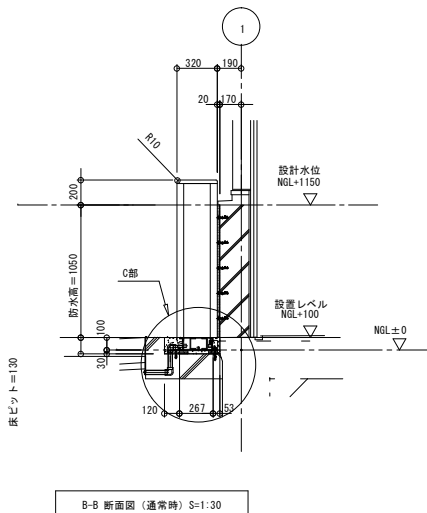
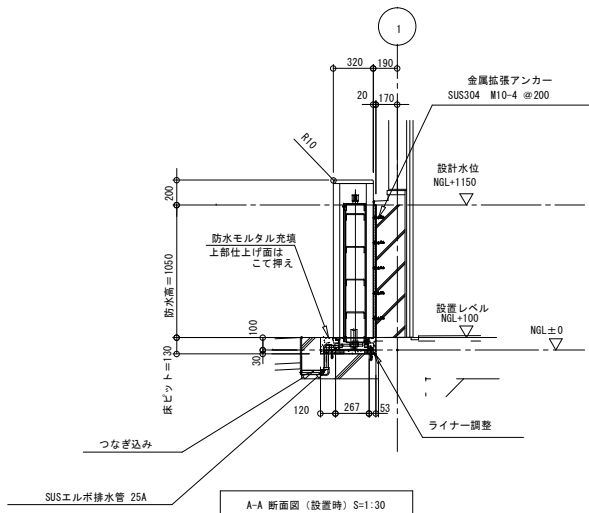


平面図 (設置時) S=1:30

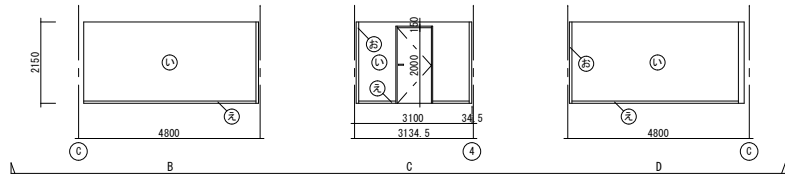


平面図 (通常時) S=1:30

仕様	
形式	スライド式防水扉 (正水圧)
防水幅	4070mm
防水高	1050 mm
扉寸法	W 4190 × H 1110 × D 175 [mm]
耐荷重	10ton
漏水量	0.02 m ² /h/m ² (工場出荷時)
耐水圧	仕様の「防水高さ」までの水圧
主要材質	表面: SUS304 錆止め塗装 (仕上げ塗装: DP塗り) 扉骨材: スチール錆止め塗装仕上げ (仕上げ塗装: DP塗り) 枠: SUS304+錆止め塗装仕上げ (仕上げ塗装: DP塗り)
錆止め塗装	変性エポキシ樹脂下塗り塗料 グレー色
扉重量	約1100kg
床枠カバー	約5kg/枚
取扱い銘板	2枚設置 (大きさは仕様メーカーによる)

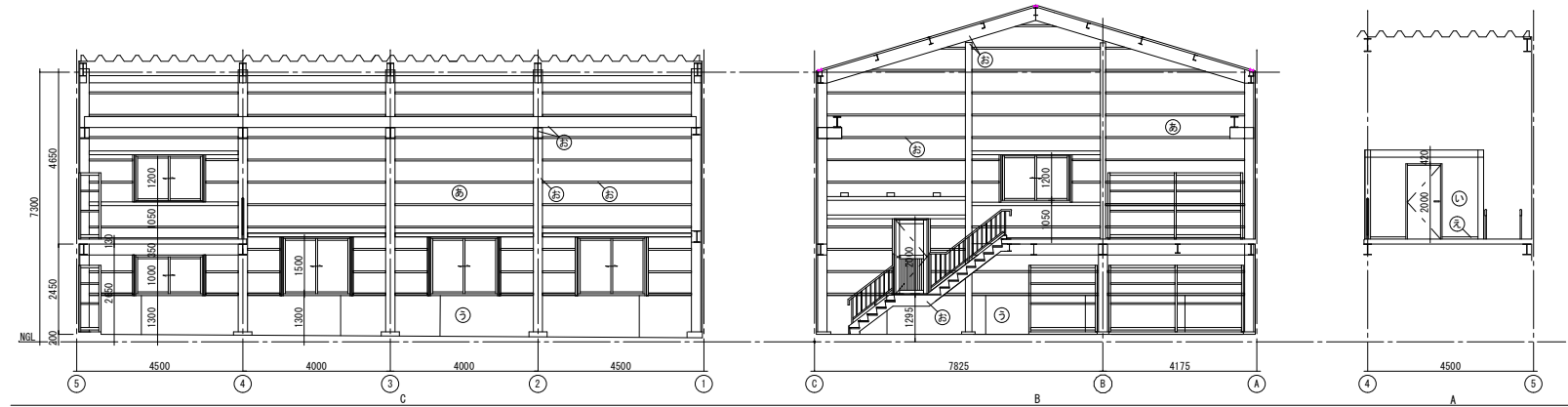


徳島県企業局	工事名	図面番号	株式会社 川建設 1級建築士登録 第126265号 川端社一郎
	R1全総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事	B-021	
	図面名	縮尺	
	防水扉詳細図 2(参考図)	1/30	



2階 保管庫

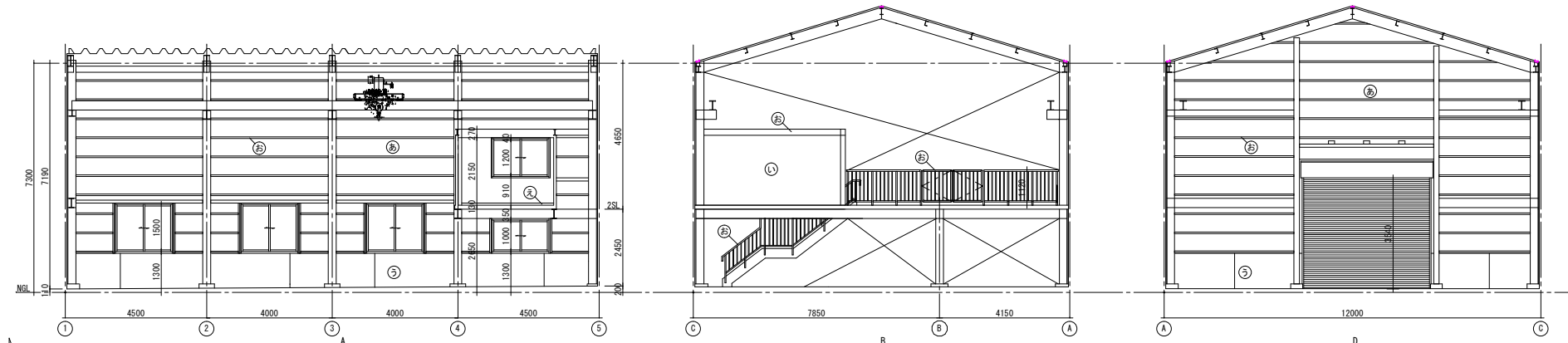
記号	仕上
㊸	スレートボード(フレキシブル板)厚5 ジョイナー工法
㊹	スレートボード(フレキシブル板)厚8 庇目地張り
㊺	コンクリート打放し(塗装合板型枠)
㊻	ビニル巾木 H=60
㊼	鉄部 SOP塗り



1階 車庫・倉庫

1階 車庫・倉庫 2階 倉庫

2階 倉庫



1階 車庫・倉庫

2階 保管庫

1階 車庫・倉庫

1階 車庫・倉庫

徳島県企業局

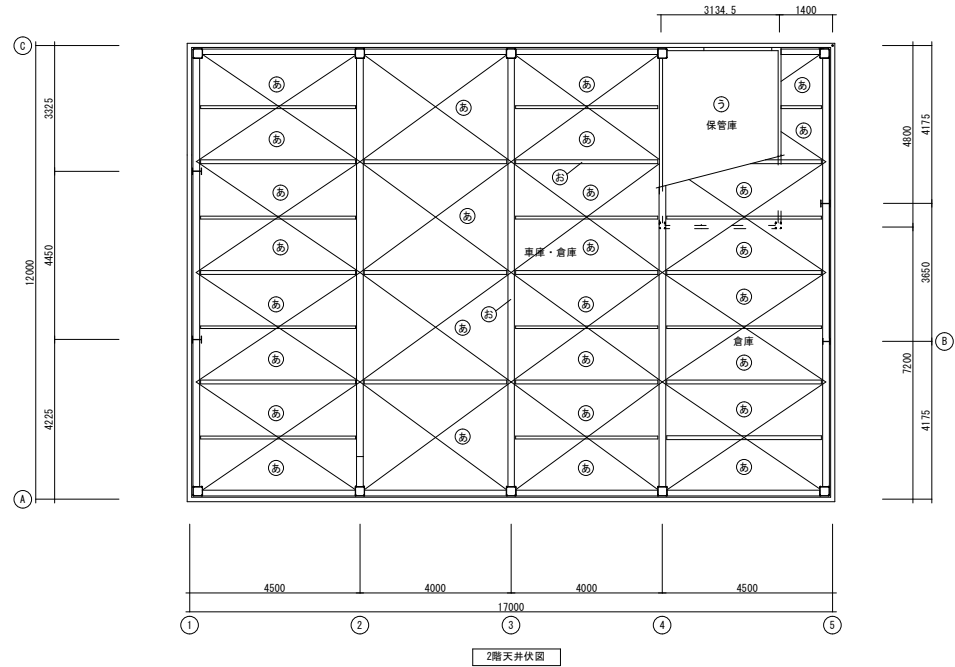
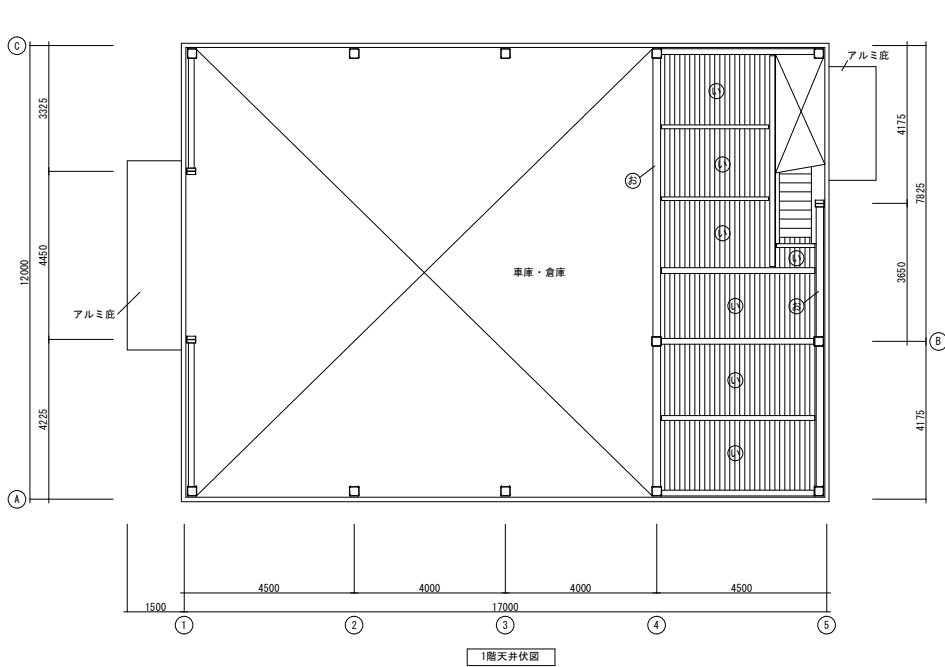
工事名 R1 企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事
図面名 展開図

図面番号 B-022
縮尺 1/100

株式会社 川建設

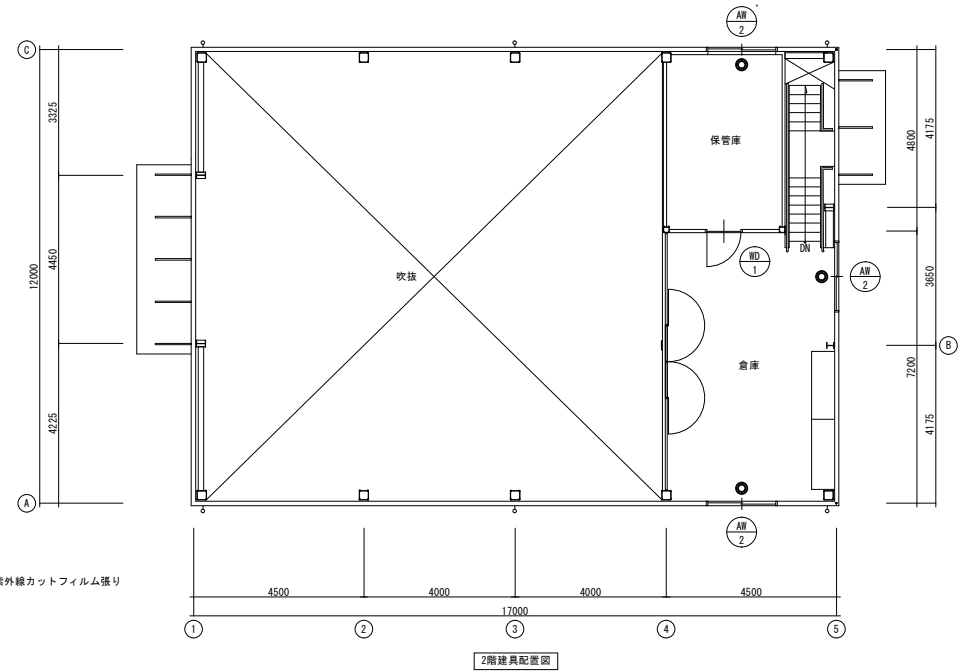
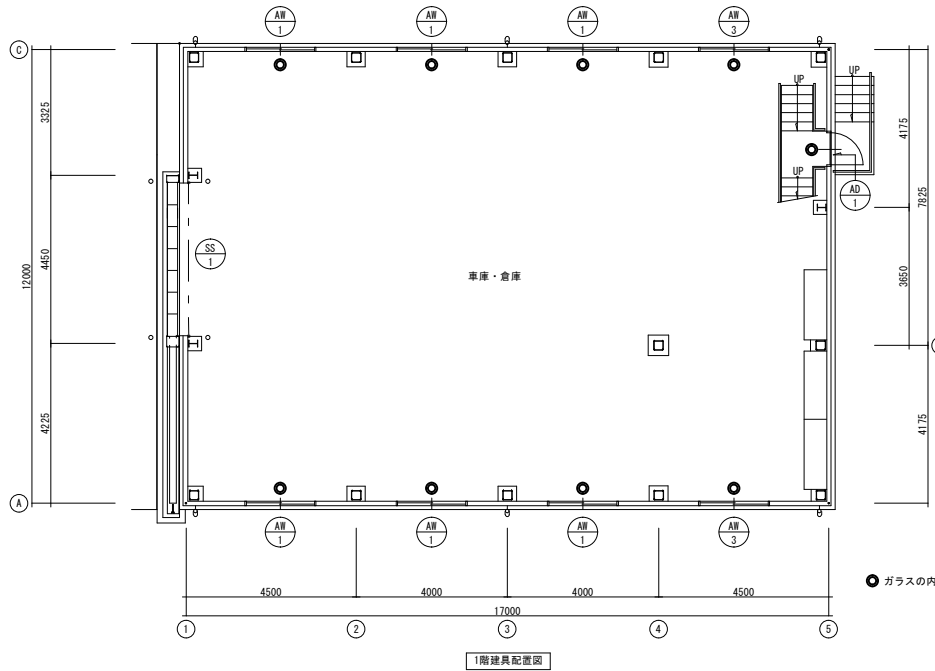
1級建築士登録
第126265号
川端社一朗

記号	仕上
㊸	屋根表し
㊹	デッキプレート表し
㊺	スレートボード(フレキシブル板)厚4底目地張り
㊻	アルミ庇
㊼	鉄部 SOP塗り

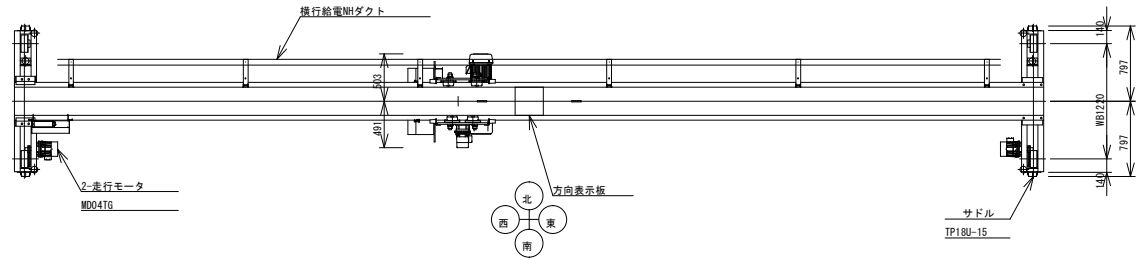


記号	AW1	AW2 AW2'	AW3	AD1	SS	WD1	
図							
型式	引違い窓	引違い窓	引違い窓	片開き扉戸	軽量電動シャッター	片開きフラッシュ戸(スチール製3方枠)	
材質(見込)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	スラット 幅=0.8	3方枠 溶融亜鉛メッキ鋼板t=1.6 S0P 扉 ポリエステル各板両面フラッシュ (36)	(100)
室名(数量)	1階車庫・倉庫 (6)	2階倉庫 2階保管庫	1階車庫・倉庫 (2)	1~2階階段 (1)	1階車庫・倉庫 (1)	2階保管庫 (1)	
ガラス	網入り磨き板ガラス6.8mm	AW2 網入り磨き板ガラス6.8mm AW2' 複層(フロート5.0mm+空気層6mm+網入り磨き6.8mm)	網入り磨き板ガラス6.8mm	網入り磨き板ガラス6.8mm			
付属金物	戸車、クレセント 他一式	戸車、クレセント AW2'のみアルミ銀線 W165 他一式	戸車、クレセント 他一式	丁番、押棒、ドアローザー、シリンダー錠 SUS下枠 他一式	レール(SUS製)、まぐさ(SUS製)、座板(SUS製)、角型ケース リモコンスイッチ、外壁部溶融亜鉛メッキ鋼3方枠 他一式	ピボットヒンジ、ドアローザー、レバーハンドル シリンダー錠 他一式	
備考	鉄骨用サッシ	鉄骨用サッシ	鉄骨用サッシ	鉄骨用サッシ	スラットの材質は塗装溶融亜鉛メッキ鋼板及び鋼帯 又は塗装溶融亜鉛-5%7â2%合金メッキ鋼板とする		

全てのガラスにはUVカットフィルムを内側から貼り付ける

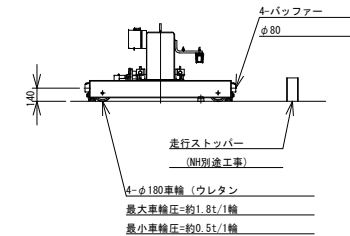
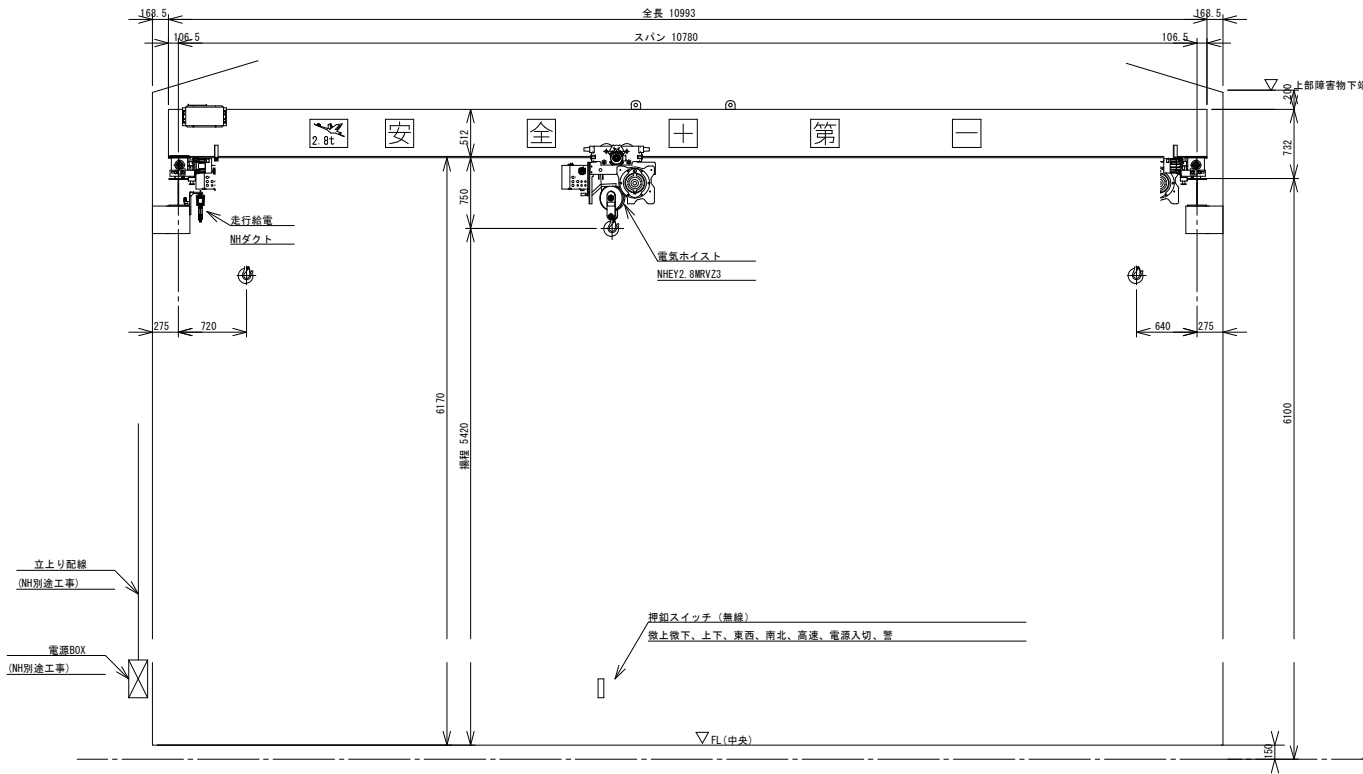


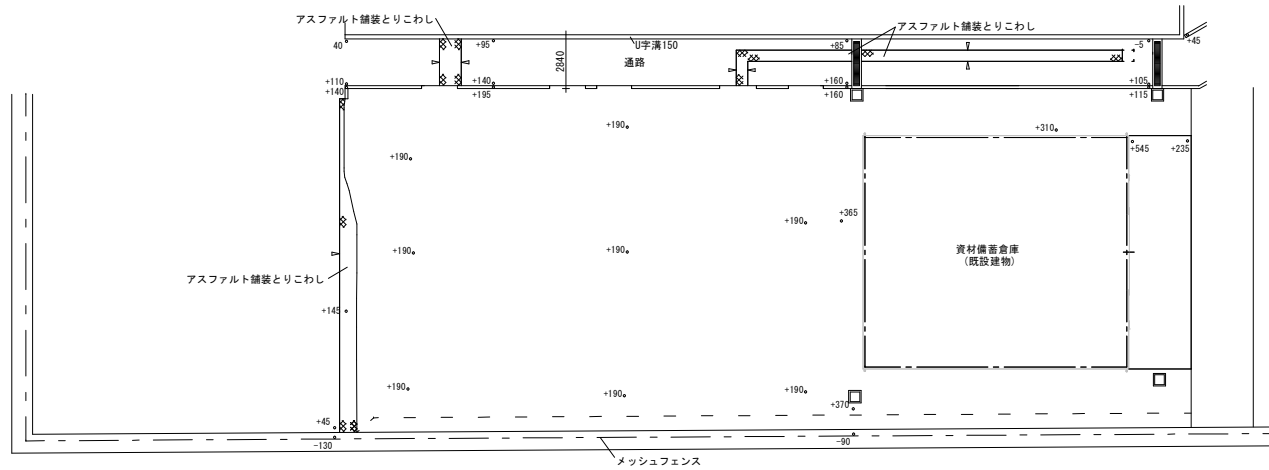
徳島県企業局	工事名 R1企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事	図面番号 B-024	株式会社 川建設 1級建築士登録 第126265号 川端社一郎
	図面名 建具配置図、建具表	縮尺 1/100	



仕様					
定格荷重	2.800 t				
吊上荷重	2.818 t				
スパン	10.780 m				
操程	5.570 m				
	速度	電動機		定格	ブレーキ
	(m/s)	(m/min)	出力(kW) × 台数	種数 (%ED)	
	巻上	0.120	7.2	4 × 1	
横行	0.400	24	0.28 × 1	4 25	電磁ブレーキ
走行	0.400	24	0.4 × 2	4 25	電磁ブレーキ
走行レール	H-294 × 200 × 8 × 12				
巻上用ワイヤロープ	6 × Fi (29) 8種 φ12 × 2				
操作方式	無線押印操作				
電源	三相交流 200V 60Hz				
塗装色	T15-60V (5YR6/12 オレンジ)				
備考	1. 巻上・横行・走行はインバータ制御方				
	2. 走行距離 17 m				
	3.				
	4.				

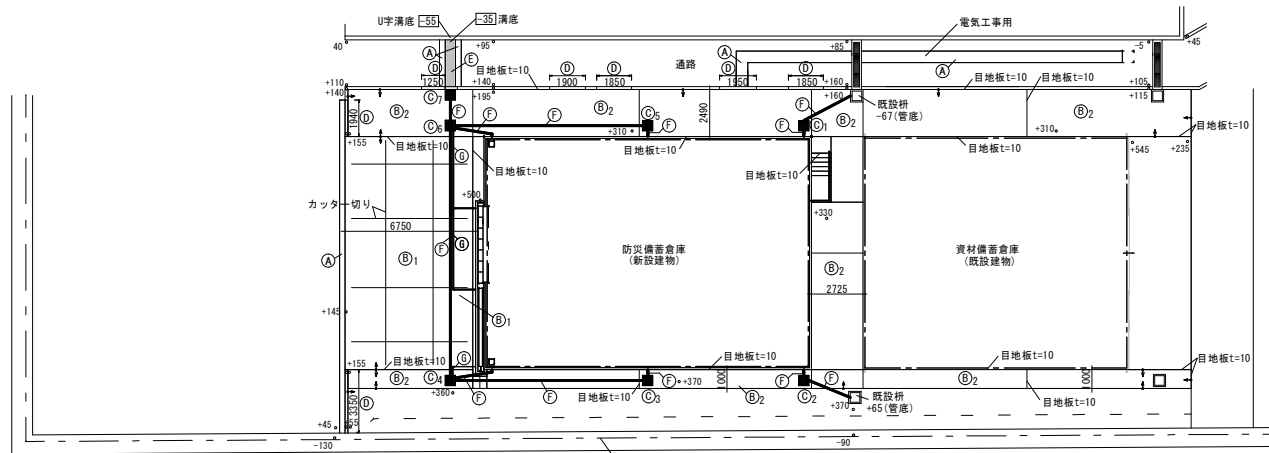
自重	
クレーン	1081 kg
ホイスト	300 kg
サドル	167 kg
合計	1548 kg





外構現況図・撤去図

アスファルト舗装カッター切り



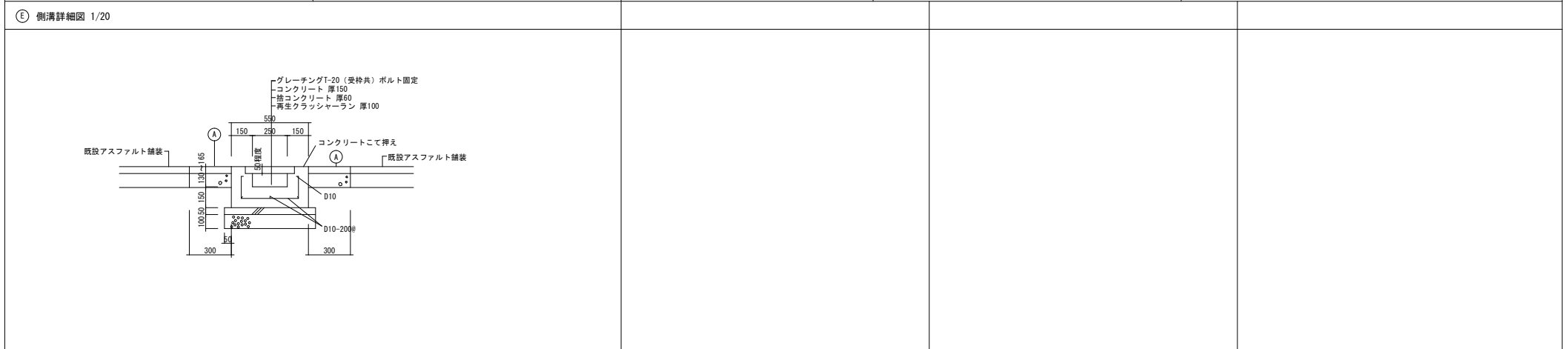
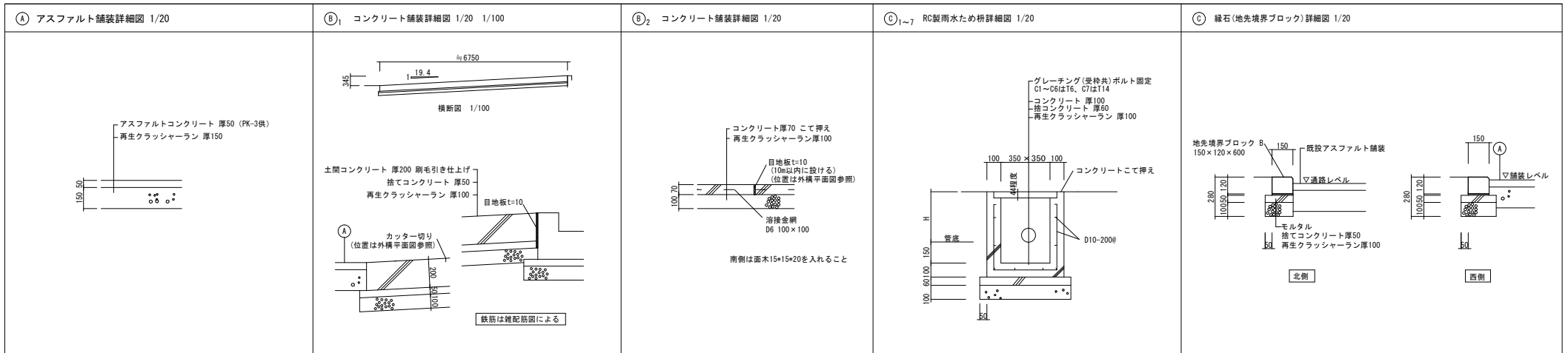
外構平面図

NGI=KGW+400とする

新設外構施設

記号	名称
Ⓐ	アスファルト舗装
Ⓑ ₁	コンクリート舗装 (厚200)
Ⓑ ₂	コンクリート舗装 (厚70)
Ⓒ ₁ ~7	RC製雨水ため枡 350×350
Ⓓ	緑石 (地先境界ブロック)
Ⓔ	側溝
Ⓕ	排水管VP100
Ⓖ	排水管VP30

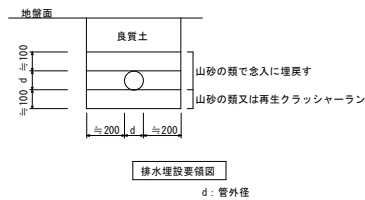
コンクリート舗装B₁及びB₂は、取合う建物とは、目地板t=10にて縁を切ること。



雨水系統(ため柵)リスト

記号	名称	寸法	上部蓋	周囲地盤高	設計管底	H
Ⓒ ₁	RC製雨水ため柵	350×350	グレーチング蓋	+310	-50	360
Ⓒ ₂	"	"	"	+370	+100	270
Ⓒ ₃	"	"	"	+370	+100	270
Ⓒ ₄	"	"	"	+360	+50	310
Ⓒ ₅	"	"	"	+310	+35	275
Ⓒ ₆	"	"	"	+310	-15	325
Ⓒ ₇	"	"	"	+195	-25	220

レベルはBからとしている。
管底については、参考値とする。
施工に際しては施工図作成のうえ、据付位置を決定し、据付面のレベル測定により、修正を行うこと。



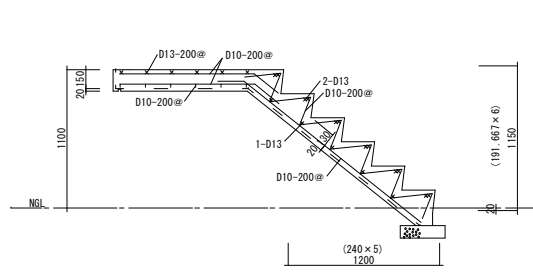
スラブリスト

記号	スラブ厚	位置	主筋	配力筋	備考
FS1	300	上端筋	D13 D10交互-150@	D13 D10交互-300@	モテアミ
		下端筋	D13-150@	D13 D10交互-300@	

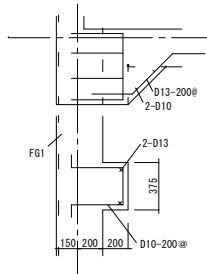


地中梁リスト 1/30

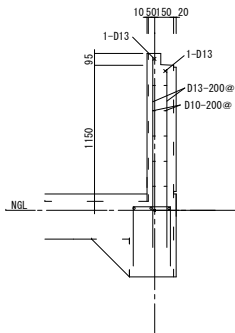
記号	F61	F62	F63	F64	F65	F66
寸法 (B×D)	350×600	550×800	450×800	400×600	400×600	350×600
		両端 中央	両端 中央	外端 中央 内端	外端 中央 内端	
上端筋	3-D19	5-D19	7-D19	4-D19	5-D19	3-D19
中間筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10
下端筋	3-D19	4-D19	4-D19	3-D19	3-D19	6-D19
スターラップ	D10-200@	D13-200@	D13-200@	D10-150@	D10-150@	D10-150@
備考						かぶり厚82とする(配力筋施工)



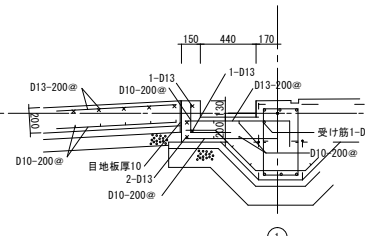
屋外階段配筋図 1/30



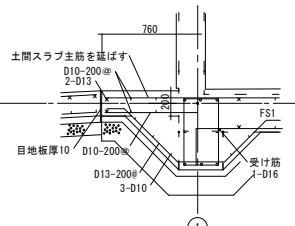
P1部基礎配筋図 1/30 1、5通



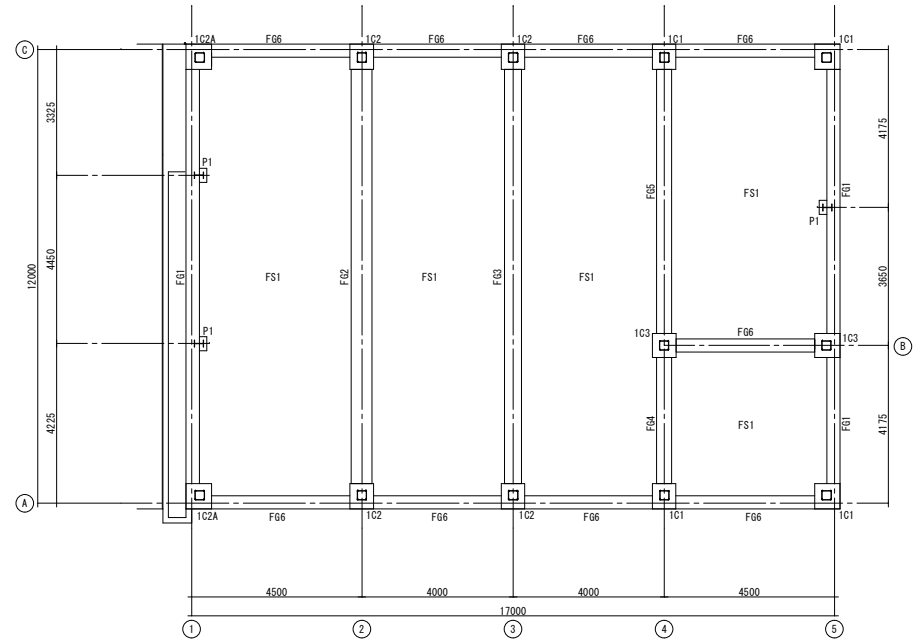
壁強配筋図 1/30



防水膜ビット部配筋図 1/30



1通橋出しスラブ配筋図 1/30



基礎伏図 1/100

徳島県企業局

工事名 R 1 企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事

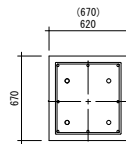
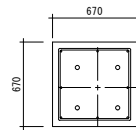
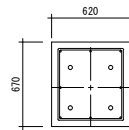
図面番号 S-001

図面名 基礎伏図、基礎・雑配筋図

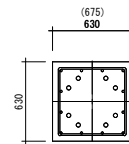
縮尺 1/100 1/30

株式会社 川建設

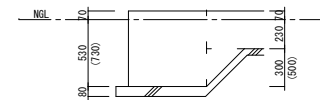
1級建築士登録 第126265号 川端社一郎



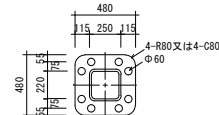
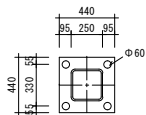
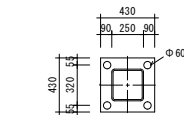
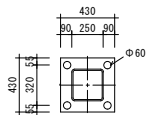
()内は5通



()内は5通



柱と土間スラブ取合い図

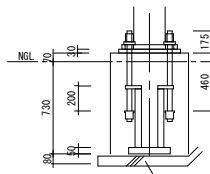


ベースプレート 430×430×36 (SM490A)
アンカーボルト 4-D35 (SD390) L=720

ベースプレート 430×430×36 (SM490A)
アンカーボルト 4-D35 (SD390) L=720

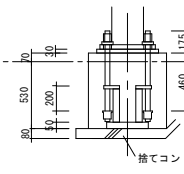
ベースプレート 440×440×40 (SM490A)
アンカーボルト 4-D35 (SD490) L=725

ベースプレート 480×480×36 (SM490A)
アンカーボルト 8-D35 (SD390) L=720



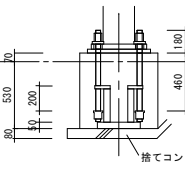
ジャストベース J250-09

1C2



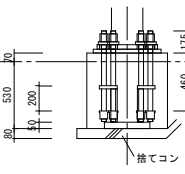
ジャストベース J250-09

1C2A



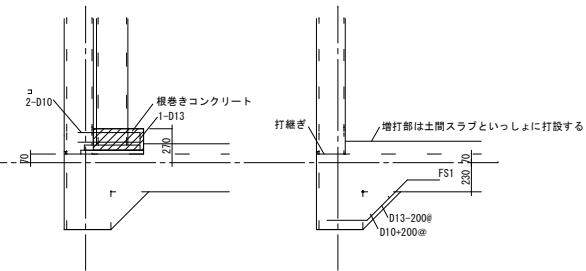
ジャストベース J250-12

1C1



ジャストベース J250-16

1C3



打継ぎ要領図、段差補強配筋図

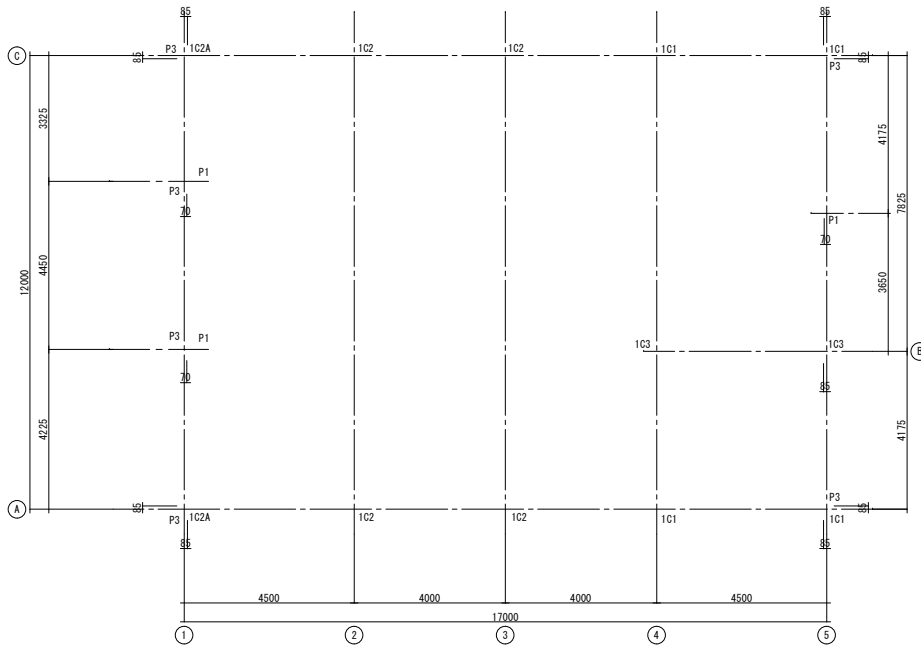
基礎柱リスト

記号	1C2 (2, 3通)	1C2A (1通)	1C1 (4通)	1C1 (5通)	1C3 (4通)	1C3 (5通)
寸法 (B×D)	620×670	670×670	620×670	670×670	630×630	675×630
柱脚	ジャストベース J250-9	ジャストベース J250-9	ジャストベース J250-12	ジャストベース J250-12	ジャストベース J250-16	ジャストベース J250-16
主筋	8-D16	8-D16	8-D16	8-D16	12-D19	12-D19
フープ	D13-150@	D13-150@	D13-150@	D13-150@	D13-160@	D13-150@
備考						

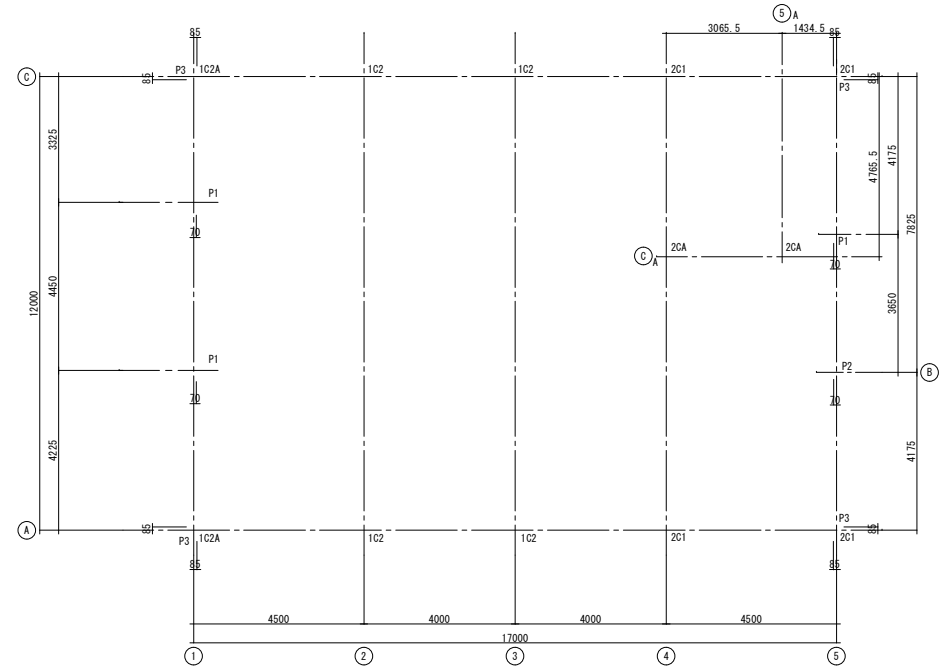
鉄骨部材リスト

1C1	柱	□-250×250×12	BCR295	ジャストベースJ250-12	P1	間柱	H-244×175×7×11	SS400
1C2 1C2A	柱	□-250×250×9	BCR295	ジャストベースJ250-9	P2	間柱	H-194×150×6×9	SS400
1C3	柱	□-250×250×16	BCR295	ジャストベースJ250-16				
2C1	柱	□-250×250×9	BCR295		P3	コーナー柱	□-100×100×2.3	STKR400
2CA	柱	□-150×150×6	STKR400					
G35	大梁	H-350×175×7×11	SS400					
G29	大梁	H-294×200×8×12	SS400					
G30	大梁	H-300×150×6.5×9	SS400	□A	□-100×100×2.3(2連続スパン)	STKR400		
G19	大梁	H-194×150×6×9	SS400	□B	□-100×100×2.3(1スパン)	STKR400		
G61 G62 G63 G64	持出し梁	H-294×200×8×12	SS400	□C	□-100×100×3.2(1スパン)	STKR400		
CG	クレーンサドル受け梁	H-294×200×8×12	SS400					
WG1	大梁	H-200×100×5.5×8	SS400					
B30	小梁	H-300×150×6.5×9	SS400	2階床面デッキプレート	合成スラブデッキプレート t=1.2、H=50 めっきZ-12 タテヨコ棋 010-200			
B25	小梁	H-250×125×6×9	SS400	折戻受け材	C-100×50×20×3.2			
B20 NB	小梁	H-200×100×5.5×8	SS400	網線	ヨコ C-100×50×20×2.3 606#(特記なき場合)			
T	ツナギ梁	[-150×75×6.5×10	SS400	小屋面ブレース	M16			

※ 窓廻りタテはC-100×50×20×2.3とする。
 ヨコ網線は2連続スパンを原則とする。
 □A~Cは窓廻り上下及びシャッター上部、アルミ庇受け材



1階柱状図



2階柱状図

徳島県企業局

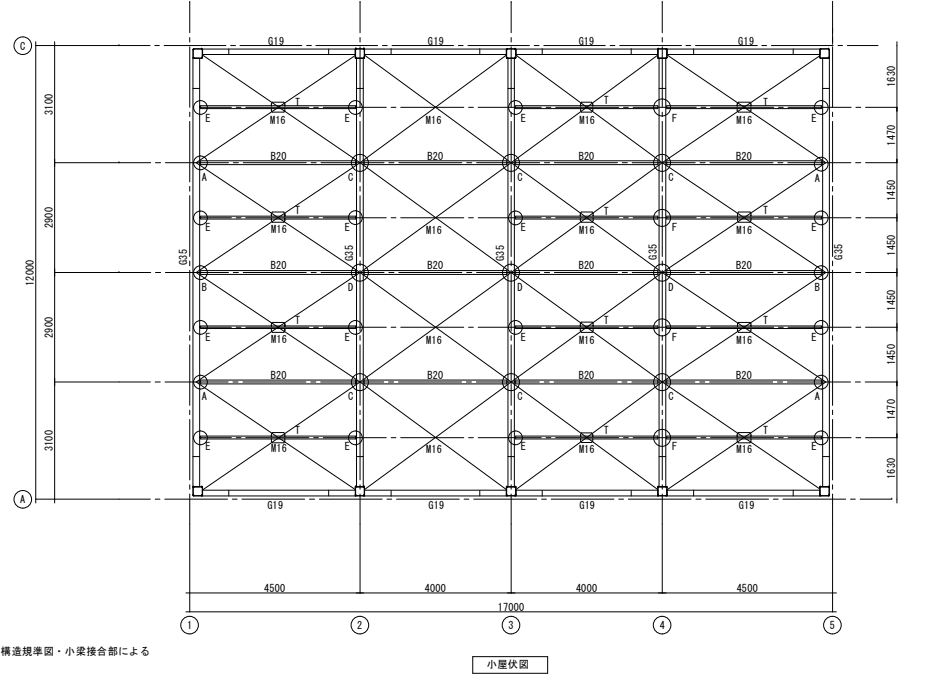
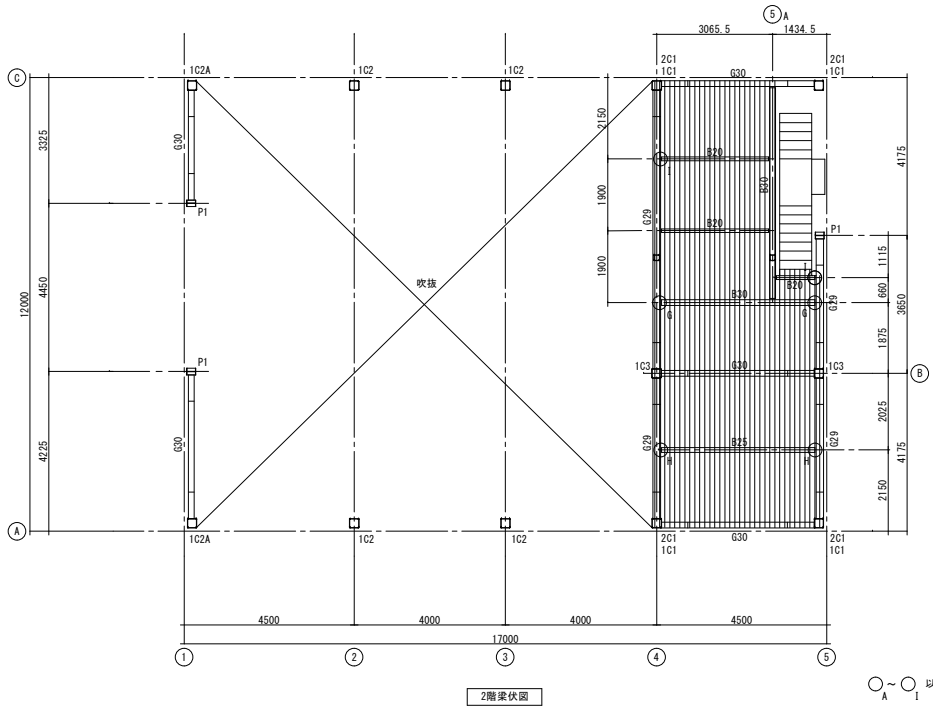
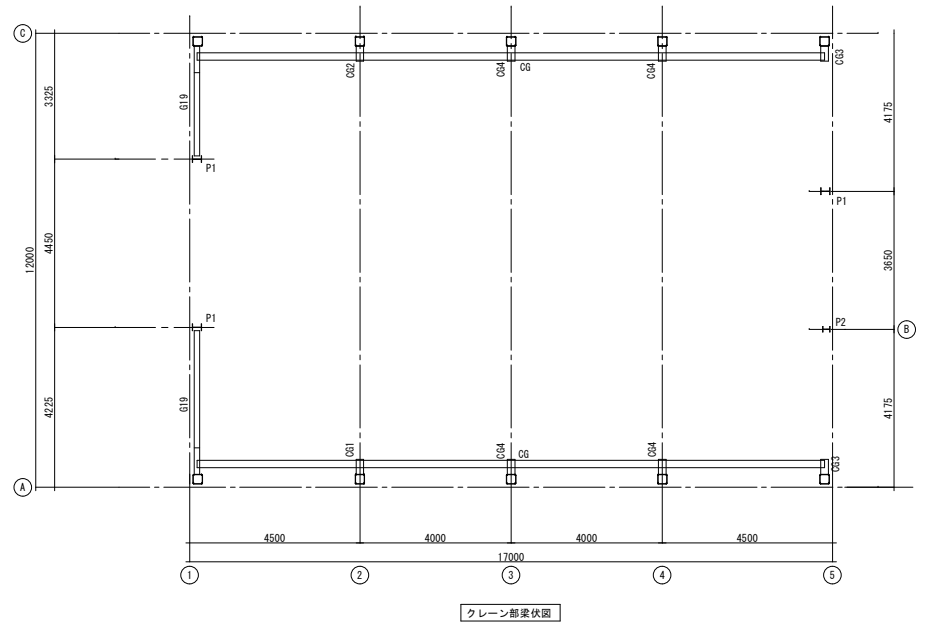
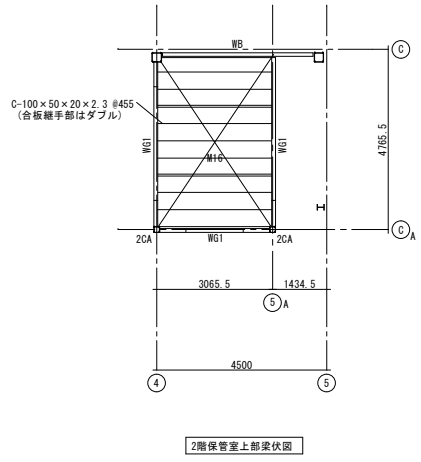
工事名 R1 企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事

図面番号 S-003

株式会社 川建設 1級建築士登録 第126265号 川端社一郎

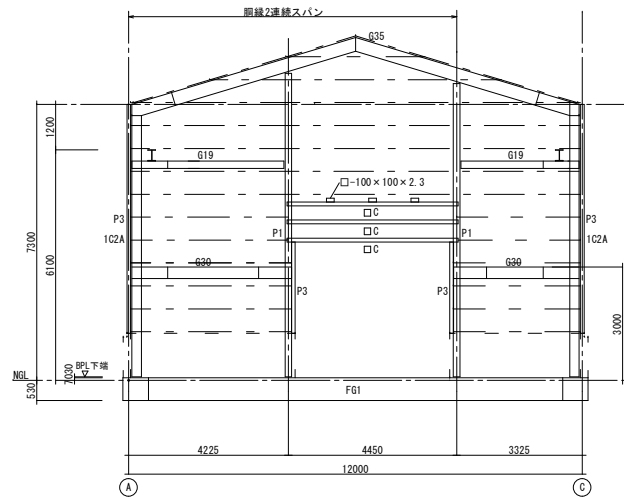
図面名 1・2階柱状図、鉄骨部材リスト

縮尺 1/100

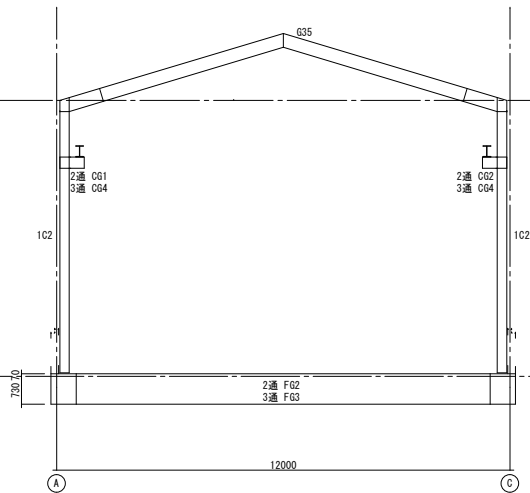


○_A ~ ○_I 以外は鉄骨構造規準図・小梁接合部による

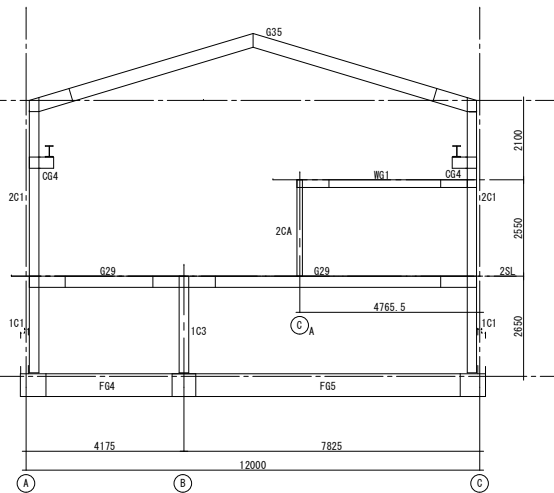
徳島県企業局	工事名	図面番号	株式会社 川建設 1級建築士登録 第126265号 川端社一郎
	R 1 企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事	S-004	
	図面名	縮尺	
	2階梁伏図、小屋伏図、その他梁伏図	1/100	



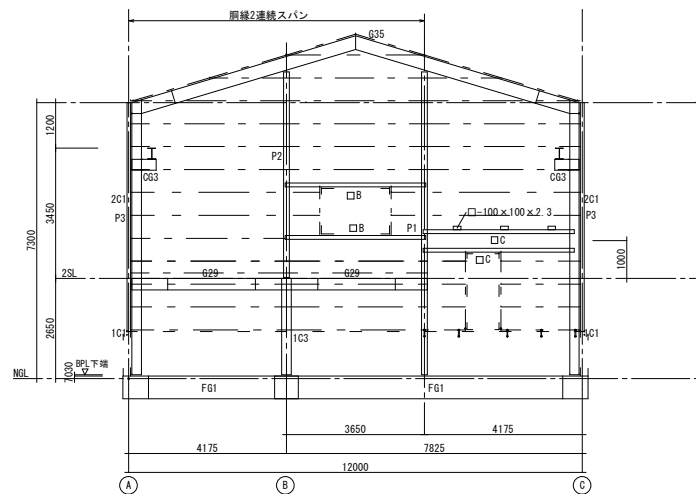
1透軸組図



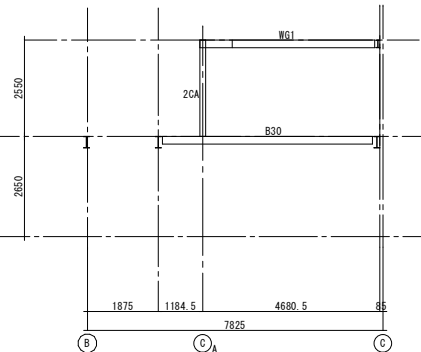
2,3透軸組図



4透軸組図



5透軸組図



5A透軸組図

■ アンカーボルト M-12 L=180
(P柱取標準図による)

徳島県企業局

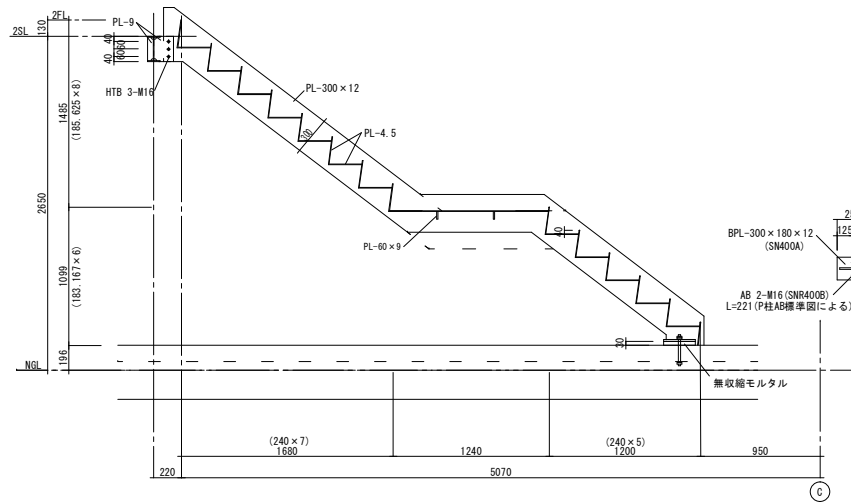
工事名
R 1 企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事
図面名

図面番号
S-005
縮尺
1/100

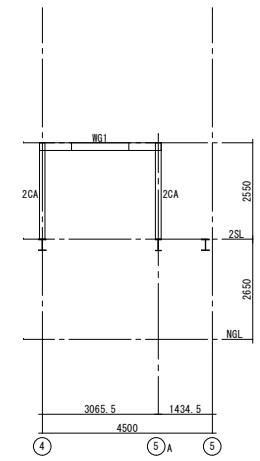
株式会社
川建設

1級建築士登録
第126265号
川端社一 部

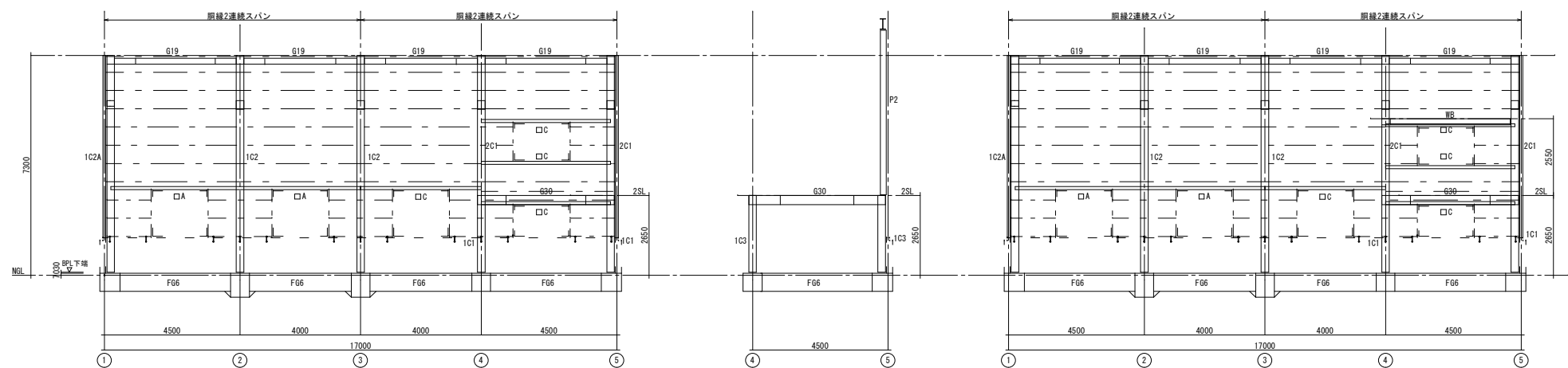
軸組図 1



階段架構造 1/30



CA通軸組図 1/100



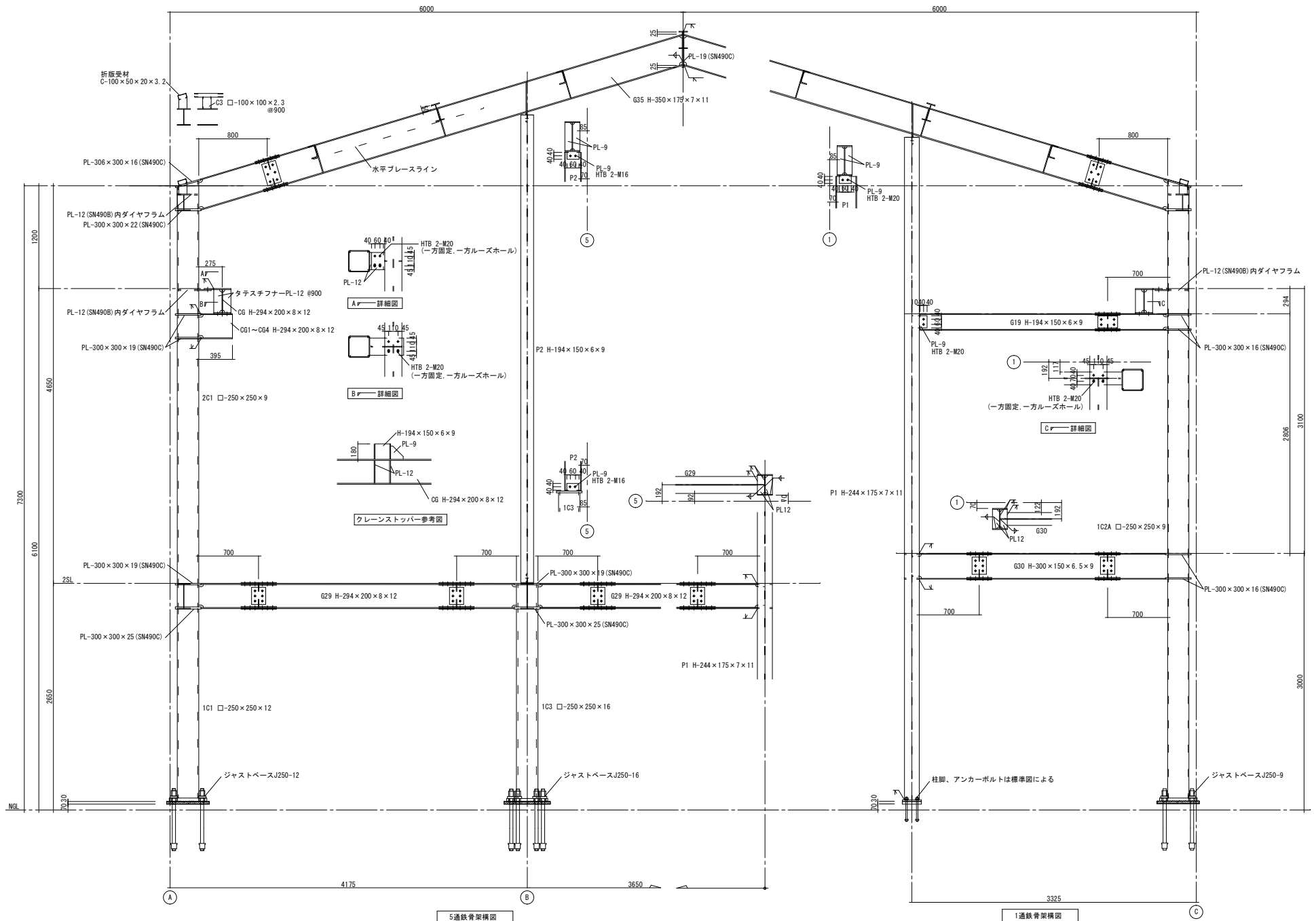
A通軸組図 1/100

B通軸組図 1/100

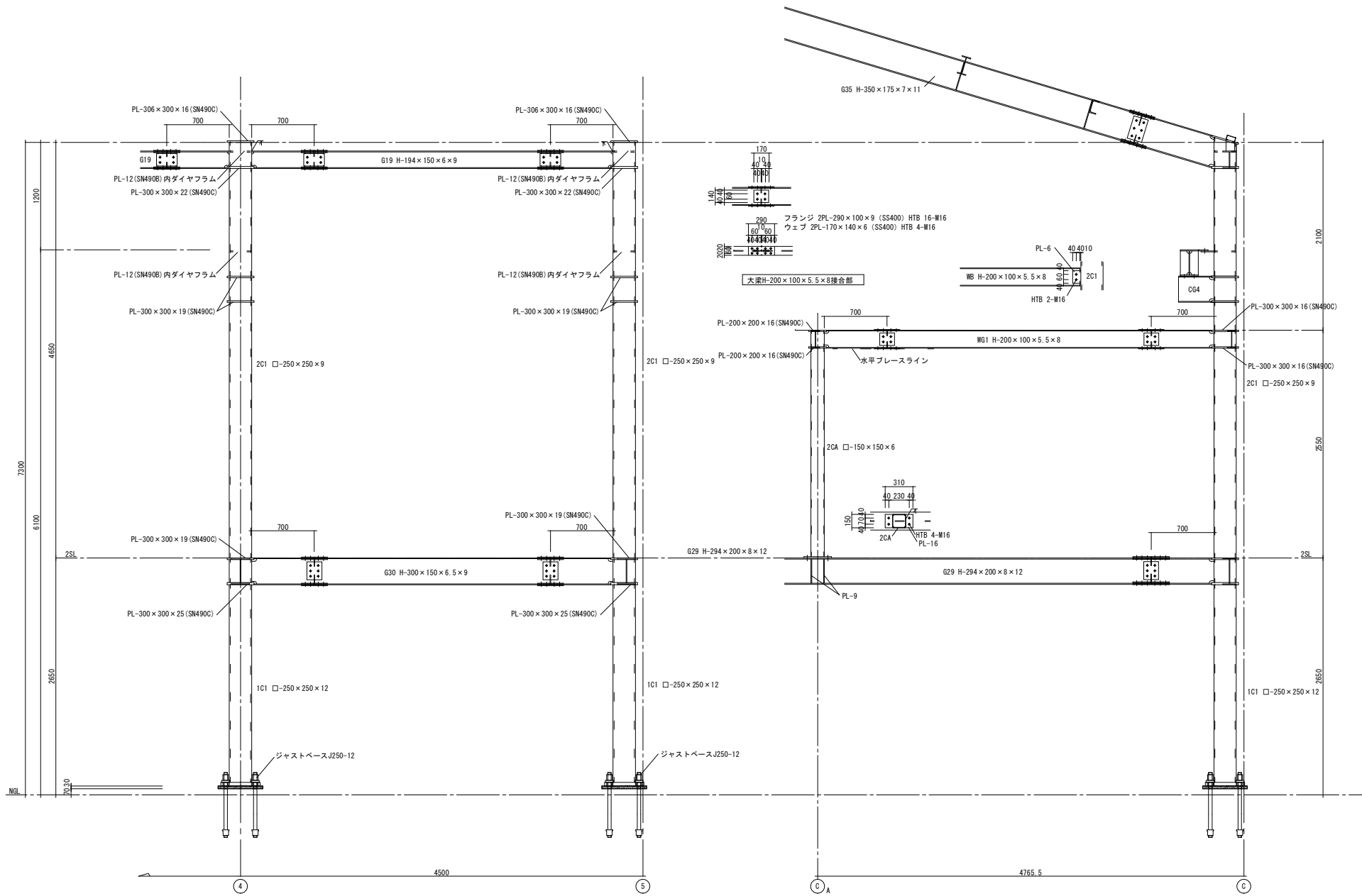
C通軸組図 1/100

■ アンカーボルト M-12 L=180
(P柱AB標準図による)

徳島県企業局	工事名	図面番号	株式会社 川建設 1級建築士登録 第126265号 川建社一部
	R 1 企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事	S-006	
	図面名	縮尺	
	軸組図 2、階段架構造	1/100 1/30	



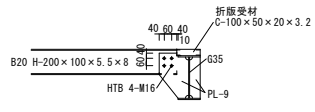
徳島県企業局	工事名	図面番号	1級建築士登録 第126265号 川端社 川端社 川端社
	R 1 企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事	S-007	
	図面名	縮尺	
	鉄骨架構図 1	1/30	



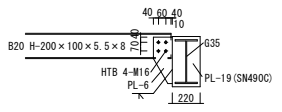
A通鉄骨架構図

4通鉄骨架構図

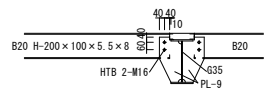
徳島県企業局	工事名	図面番号	1級建築士登録 川建設 川端社 川端社一節
	R 1 企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事	S-008	
	図面名	縮尺	
	鉄骨架構図 2	1/30	



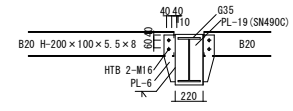
○ A部 小梁接合図



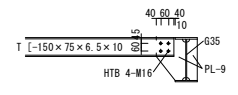
○ B部 小梁接合図



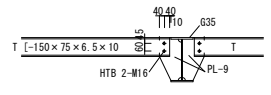
○ C部 小梁接合図



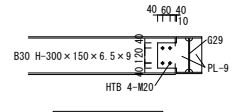
○ D部 小梁接合図



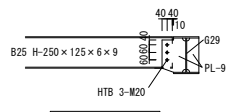
○ E部 小梁接合図



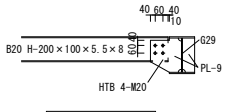
○ F部 小梁接合図



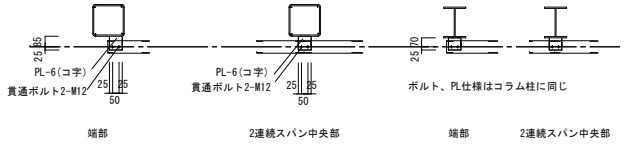
○ G部 小梁接合図



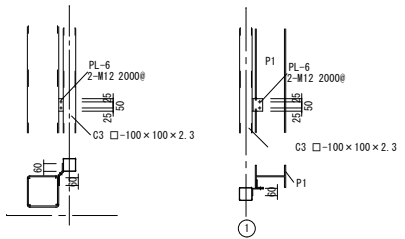
○ H部 小梁接合図



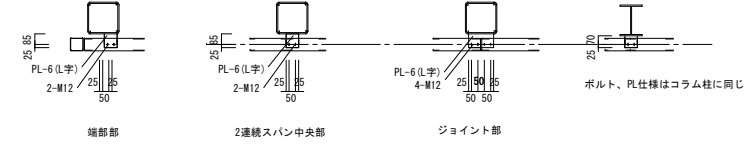
○ I部 小梁接合図



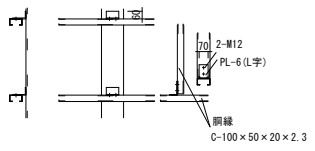
□ A~C



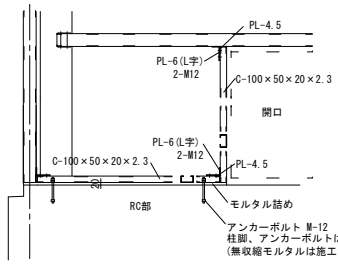
□ コーナー部C3



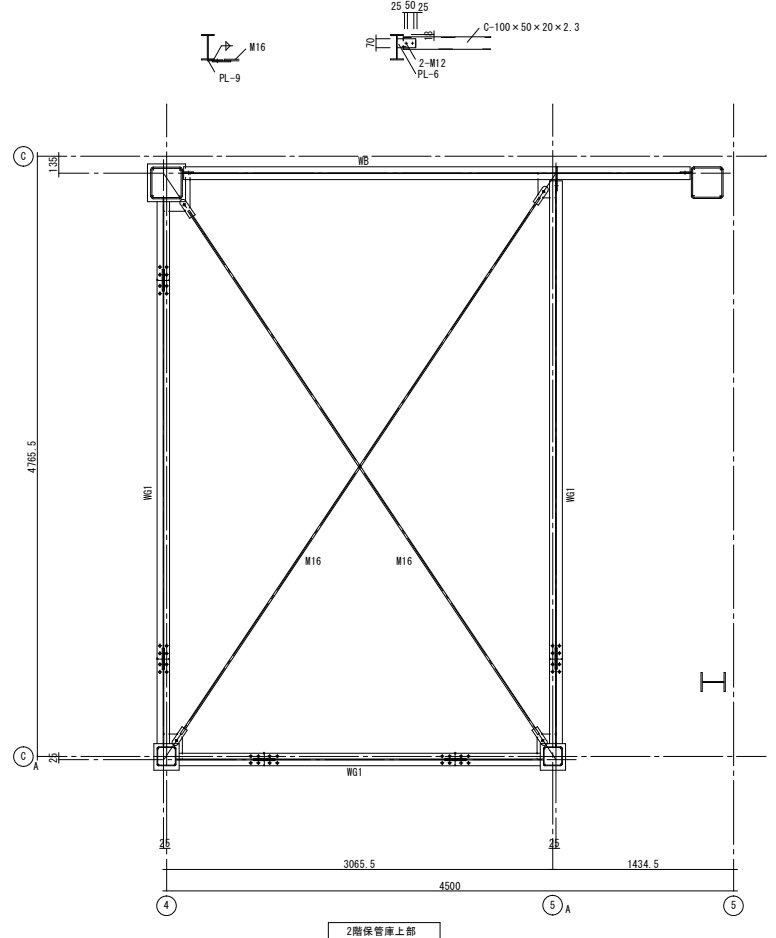
□ A~C



□ 鋼線

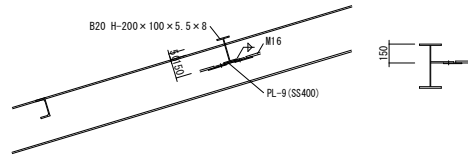


□ A, C連のRC部鋼線納まり

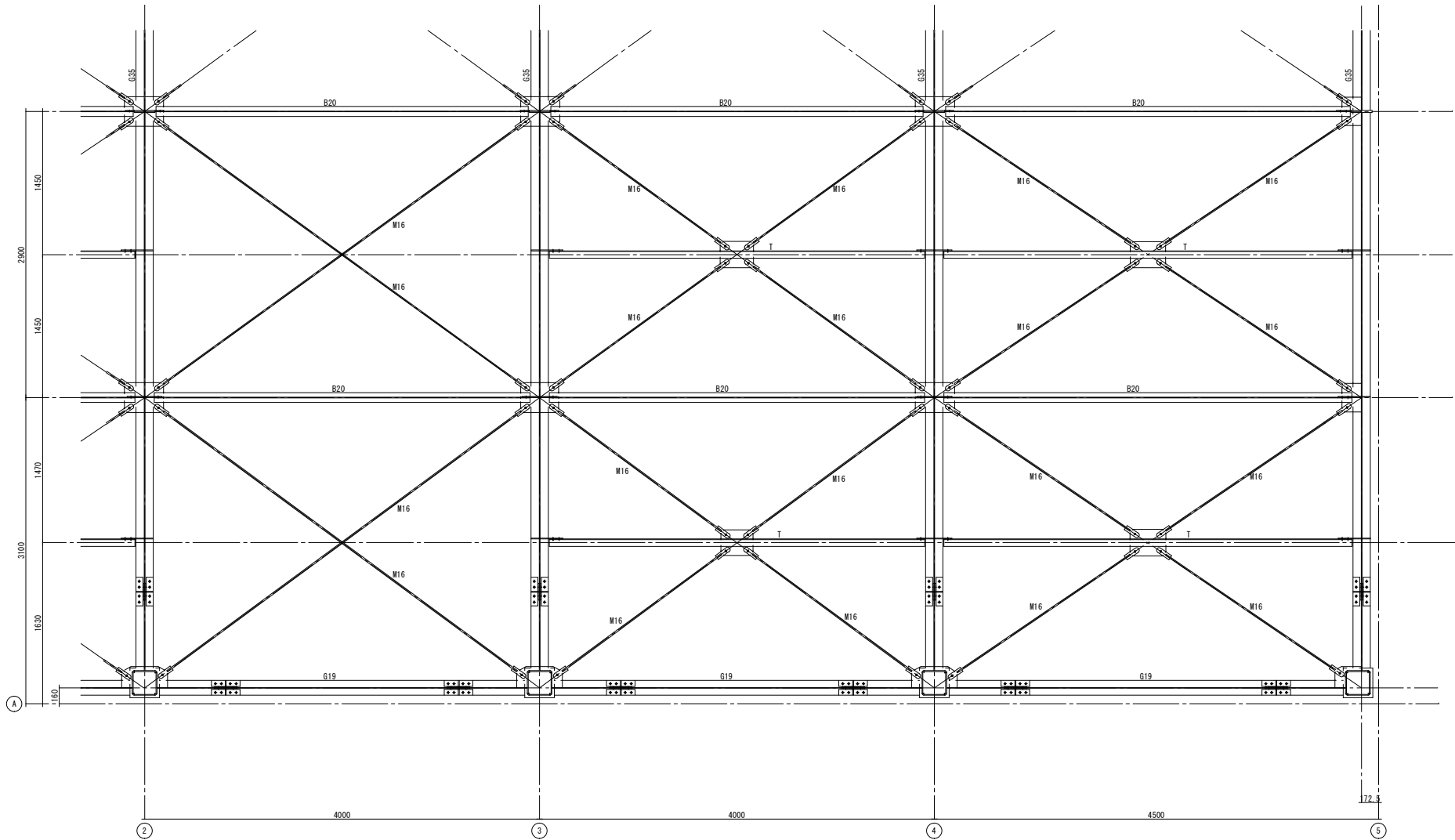


□ 2階保管庫上部

徳島県企業局	工事名	R1 企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事	図面番号	S-009	株式会社 川建設 1級建築士登録 第126265号 川端社一部
	図面名	鉄骨架構造 3	縮尺	1/30	



R階小屋面ブレース詳細図
ボルト、GPLの仕様は標準図7-71による



徳島県企業局	工事名	図面番号	株式会社 川建設 1級建築士登録 第126265号 川端社一節
	R1企総管 吉野川北岸工業用水道 防災備蓄倉庫新築工事	S-010	
	図面名	縮尺	
	鉄骨架構図 4	1/30	

Q Lデッキ合成スラブ設計・施工標準 JFE建材株式会社

QLデッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・解説」、「鉄骨工技術指針」、「建築工事標準仕様書・解説 建築JASS5鉄筋コンクリート工事及JASS6鉄骨工事」、(社)日本鉄鋼連盟「デッキプレート床構造設計・施工標準-2004」、合成スラブ工業会「合成スラブの設計・施工マニュアル」、GLデッキ設計マニュアル・施工マニュアルによる。

設計

材料/デッキプレート		[ISO 9001認証取得]	
デッキプレート種類	板厚(mm)	表面処理	表面処理
QLデッキ	増設加工	□表面防錆処理(一次塗装) □Lブライマー(P) □亜鉛めっき □Z12 □Z27 □ZAM(高耐食溶めっき鋼板) □K27 □K35 □無し	□口取
QL99-50	□1.2		
QL99-75	□1.6		
QLセラール		□GKK-X50 □GKK-X75	□1.2 □1.6
材質		JIS G 3552に定めるSDP1T, SDP2, SDP2G	

材料/コンクリート	
種類	普通コンクリート □軽量コンクリート(□埋 □2種)
設計基準強度	□19 □21 □ N/mm ²
圧入値(デキサ山)	□60 □70 □80 □85 □90 □100 □110 mm

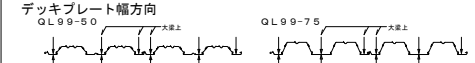
材料/溶接金網・異形鉄筋	
溶接金網	JIS G 3551 □φ6-150×150 □φ6-100×100
異形鉄筋	JIS G 3112, 3117 □D10-φ200 □

接合	
焊接接合	下記接合項目による
口打込み	別途打ち込みの仕様による
隠付キスラッド	JIS B 1119 □φ13 □φ16 □φ19 □φ22
その他	□

耐火		
耐火時間	1時間	2時間
連続支持	□FP060FL-9095	□FP120FL-9107
単接支持	□FP060FL-9101	□FP120FL-9113
その他	□	□
□指定なし	□	□

特記	
支保工有無	□有 □無 □その他

焼抜き検査 焼抜き検査実施を記すに記す。



デッキプレート幅方向 (Q/L99-50)	
Aw = 1.5 × Qa × 1000mm	かつ 600mm 以下
Aw = 1.5 × Qa × 1000mm	かつ 600mm 以下
Aw = 1.5 × Qa × 1000mm	かつ 600mm 以下



アクセサリ	
フランジ	溶接金網の補強に用いる。
ハンガースタブ	QLデッキを下利用する用(引継ぎ用)。
スペーサー	ワイヤメッシュの高さを保つ。
クローザー	QLデッキの口取に用いる。

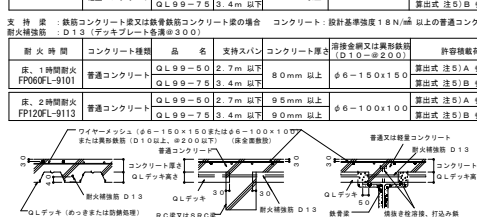
施工順序	
1 鋼骨の出	鉄骨梁の場合、1) 鋼骨の出
2 敷込み	デッキプレートを鋼骨梁に敷き、
3 溶接金網の打設	コンクリートを打ち込み、
4 溶接金網の打設	コンクリートを打ち込み、
5 溶接金網の打設	コンクリートを打ち込み、

耐火仕様

【連続支持合成スラブ】						
耐火時間	コンクリート種類	品名	支持スパン	コンクリート厚	許容積荷重	
1時間耐火	普通コンクリート	FP060FL-9095	QL99-50	3.0m以下	80mm以上	算出式注5)A参照
			QL99-75	3.4m以下	80mm以上	算出式注5)B参照
2時間耐火	普通コンクリート	FP120FL-9107	QL99-50	2.7m以下	95mm以上	算出式注5)A参照
			QL99-75	3.0m以下	95mm以上	算出式注5)B参照

【単接支持合成スラブ】						
耐火時間	コンクリート種類	品名	支持スパン	コンクリート厚	許容積荷重	
1時間耐火	普通コンクリート	FP060FL-9101	QL99-50	2.7m以下	80mm以上	算出式注5)A参照
			QL99-75	2.7m以下	80mm以上	算出式注5)B参照
2時間耐火	普通コンクリート	FP120FL-9113	QL99-50	2.7m以下	95mm以上	算出式注5)A参照
			QL99-75	3.0m以下	95mm以上	算出式注5)B参照

支保工 鉄骨コンクリート又は鉄骨鉄筋コンクリート梁の場合 コンクリート 設計基準強度 18 N/mm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート (1種、2種) 耐火性能 1.0 h以上 (デッキプレート全量適用可)

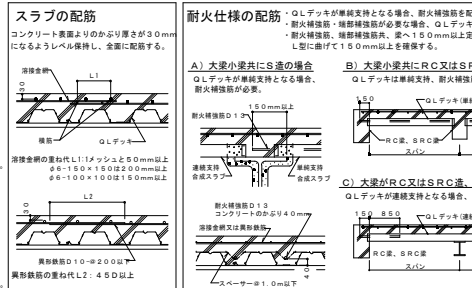
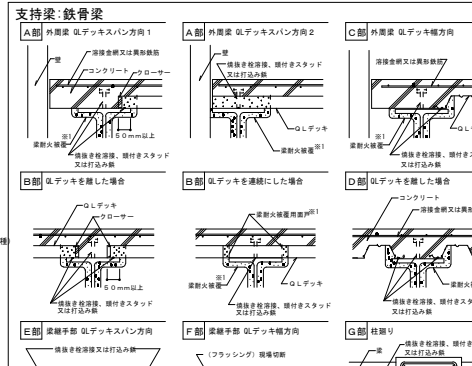
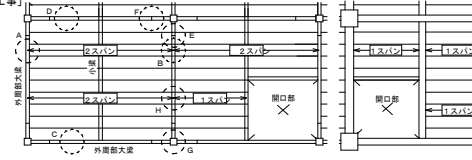


耐火仕様						
耐火時間	コンクリート種類	品名	支持スパン	コンクリート厚	許容積荷重	
1時間耐火	普通コンクリート	FP060FL-9101	QL99-50	2.7m以下	80mm以上	算出式注5)A参照
			QL99-75	3.4m以下	80mm以上	算出式注5)B参照
2時間耐火	普通コンクリート	FP120FL-9113	QL99-50	2.7m以下	95mm以上	算出式注5)A参照
			QL99-75	3.4m以下	95mm以上	算出式注5)B参照

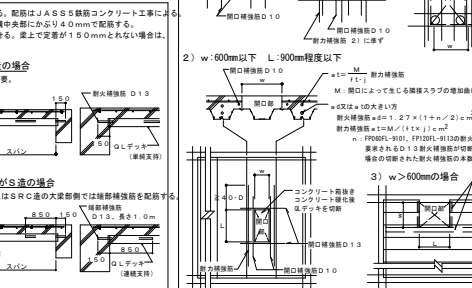
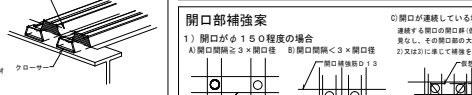
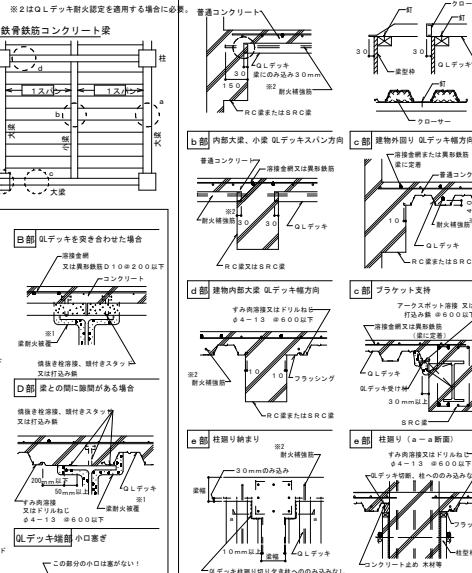
付帯条件 連続支持合成スラブの場合、デッキプレートは2スパン以上わたって連続的に小引等によって、ほぼ等間隔に支持されるものとする。

標準納まり

※図中1は、梁に1, 2または3時間の耐火性能が要求される場合のみ適用。 ※はQLデッキ耐火認定を適用する場合に



支持梁・鉄筋コンクリート・鉄骨鉄筋コンクリート梁



施	
1 鋼骨の出	鉄骨梁の場合、1) 鋼骨の出
2 敷込み	デッキプレートを鋼骨梁に敷き、
3 溶接金網の打設	コンクリートを打ち込み、
4 溶接金網の打設	コンクリートを打ち込み、
5 溶接金網の打設	コンクリートを打ち込み、

工	
工種	手続・要領
1 アーク溶接	QLデッキを梁に下向きに溶接する。
2 溶接金網の打設	溶接金網を標準仕様通りに打設する。
3 溶接金網の打設	溶接金網を標準仕様通りに打設する。
4 溶接金網の打設	溶接金網を標準仕様通りに打設する。

検査	
【溶接金網検査 (SPW) 及び自動溶接金網検査 (A.P.W.)】	
1 溶接金網検査	溶接金網の検査方法については「溶接金網検査」を参照する。
2 自動溶接金網検査	溶接金網の検査方法については「溶接金網検査」を参照する。
【溶接金網検査 (A.P.W.)】	
1 溶接金網検査	溶接金網の検査方法については「溶接金網検査」を参照する。
2 自動溶接金網検査	溶接金網の検査方法については「溶接金網検査」を参照する。

(参考) ひび割れ拡大防止のための留意事項	
1 設計上の留意点	ひび割れの発生を抑制するための配筋を確保する。
2 施工上の留意点	コンクリートの打ち込み時にひび割れを発生させないよう注意する。

工事項	図面番号
R1 総監理	S-012
R2 監理	S-012

図面番号	図名
S-012	合成スラブデッキプレート標準図

他社の納品・参考例については、QLデッキ施工マニュアルまたは別途「納まり図」(技術資料CADデータ取得)を参照下さい。

株式会社 川建設 162625号 川建社一館